

術ノ進歩ヲ圖ル考ヘナラバ、其品ヲ内地人ニ多ク賣リテ良否ヲ試ミズトモ、世界ニ向ツテ多ク賣リ出シ以テ進歩ノ試験ヲ爲セバ善イデハナイカ、又奢侈ヲ文明

ナドト曲辨

シタリトテ毫モ國家社會ヲ福益セヌデハナイカ、又外國人ノ眼

ヲ驚カス考ヘナラバ、其ンナ田舎者ノ眼ヲ驚カス様ナ誇大ナル建築ヲ奢侈獎勵用ニ應用セズトモ、武道館ニデモ國祖崇拜院ニデモ其他國家社會ヲ益スベキ事ニ應用シテ善イデハナイカ。又講義録屋ノ大山師ガ山師心ガ無イナラバ、何故ニ實地教場ヲ設ケズシテ洋紙販賣（講義録發行）ノミヲ致シテ居ルノカ、又廣告ハ世ニ知ラセル爲メナラバ、眞面目ナ裁判所ヤ官衙役場ヤ巡查看守養成所ノ廣告位イナ程度ノ少サキ文字ヲ致シテ善イデハナイカ、危大ナル廣告ハ未ダ思想ノ熟セザル青少年ノ眼ヲ惑ハス爲メデ

ナクテ何ゾ、又實力無キ者等ヲ唯一時喜バシメンガ爲メニ濫リニ證書ヲ與フルノガ學界ヲ誅毒スル誅學界ニ非ズシテ何ゾ。眞面目ノ講義録發行所ハ實地教授ノ教場モアレバ、證書モ實力者ノミヘ與フルデハナイカ。

要スルニ「我田引水」ナル文話ハ、善行者ノ善說ニ對シテ用ヒテハ國家社會ヲ益スベキモノデハナク、國家社會眼カラ見テ、不善ナル言行者等ノ詭辯ヲ破壊スル爲メニ用ユベキ文語デアル。

第十二 愛（大愛と小愛）

現代我國ノ思想界ハ、場末地方カラノ舶來妄想狂者ノ詭辯ニ誤ラレテ、知ラズ識ラ

ズノ間ニ惡化セシメラレタモノガ尠クナイ、「愛」ノ一語モ亦善化シテハ居ナイ様デアル、否頗ル狭小下卑ナルモノニ思化シタ様ナ傾向ガ甚シイ現状デアアル。實ニ吾人ハ此「愛」ナル文語ノ説明ヲ要セネバナラヌ現代ノ思想界ヲ痛嘆セズニハ居ラレヌノデアアル。

抑モ「愛」ナル文語ハ之ヲ多ク如何ナル方面ニ使用シテ可ナルベキ乎、之レ吾人ノ解決セントスル所デアアル。

「大ハ小ヲ兼ネル」ト云フ諺ガ眞理デアアル以上「愛」ナル文語モ、主トシテ小ナル方面ヨリモ大ナル方面ニ多ク使用スルヲ可トスルノデアアル、元來眞ノ「愛」ハ宏量正大ナル心理状態ヨリ發動ス

ルモノデアツテ、狭小ナル度量ノ心理状態カラハ餘リニ發セヌモノデアアル、隨ツテ其意義モ亦正大デアツテ決シテ狭少ナル意義ノモノト限ラレタモノデハナイ、故ニ此正大ナル意義ヲ有スル「愛」ナル文語ハ、強ヒテ之レヲ區々タル個人間ノ事ノミニ使用スルヨリハ、大ナル國家的ノ方面ニ多ク使用スルヲ可トスルノデアアル、之ニ反シテ大愛(愛國)ノ念ヲ主トセズ小愛ナル個人間ノ愛ノミニ拘泥スル國民ハ早晚其國家ヲ滅ボスモノデアアル、彼ノ猶太ノ國家ガ滅ビタノモ印度ノ國家ガ亡ビタノモ其最大原因ハ、其國民ノ頭腦ニ口談ニ筆紙ニ區々タル個人間ノ小愛思想ノミガ盛ンデアツテ、個人ヨリモ大ナル國家ヲ愛スルノ大愛ニ乏シカツタカラデアアル、官民間ノ所謂識者所謂學者ヤ僞志士ノ諸君モ

少シハ文語ノ用途流行等ニ就イテ研究シテ見ルガ善イデハナイカ、吾人ハ斷言ス!!
 「愛」ナル文語ガ個人間ノ事ノミニ多ク使用セラル、**國家ハ滅ビ**、「愛」ナル
 文語ガ日常國家的ノ談話筆頭ニ現ハル、國民ノ多キ**國家ハ榮ユ**ト、故ニ
 各人ガ當然、**世界ノ本ツ國ヲ愛スルノ情ニ富ミ**其國
 家ヲ隆興ナラシメテ、世界ヲ一團ノ國家ト成スマデニ本ツ國ヲ愛シテ進マバ、遂ニ世
 界ハ大平和トナリテ、場末地方ナド人間ガ人間ヲ殺ス様ナ慾ノ戰爭ナドモ無クナル
 ノデアアル、(場末人等ノ慾戰ト、本ツ國カラ發動スル義戰トハ其根本性質ニ於テ別物デアアルコトハ「世界の王
 政復古」ナル書冊ヲ讀破シタ人々ノ既ニ御承知ノ事ト思フカラ、茲ニハ義戰ノ事ハ細説シナイテ措ク)。

如何ニ世界多數ノ政治家宗教家、詭辯者等ガ依然、宇宙ノ眞理タル日本ノ皇道ヲ悟

ラズシテ、區々タル個人間ノ小愛ノミニ偏傾シテ小愛ノミヲ尙ビ、如何ニ博愛慈善ヲ
 フ詭辯ヲ弄シタ所ガ、世界ノ本ツ國ヲ愛スルノ大愛ノ情ガ乏シカツタナラバ其所謂博
 愛慈善モ破壊サレル程度ノ戰爭ガ起ルノデアアルカラ、小愛主義ノミニテハ幾億萬年經
 ヲテモ世界ノ大平和ハ完フシ得ナイノデアアル、例ヘバ甲國ノ或人ト乙國ノ或人ト親友
 又ハ親戚ノ間柄デアツタ場合、甲乙ノ二國ガ敵ニナツテ戰爭ヲ打チ始メタトナレバ、
 前ノ親戚友人モ戰陣ニ立テテ各々敵殺行動ヲ採ラネバナラヌ、又甲國ノ人ヤ乙國ノ人
 ガ如何ニ敵國ノ知人ヤ貧民等ノ宅ヲ訪フテ博愛慈善ヲ施サントシテモ、其ハ固ヨリ小
 愛デアアルカラ戰爭ノ爲メニ遍ギラレテ、慈善ノ施シモ能ハヌノデアアル、世界ノ本ツ國
 ニ對シテ世界ノ全臣民ガ大愛ノ情ヲ捧ゲヌ内ハ、時々世界ニハ悲惨ナ戰爭ガ起ルノデ

アル。

元來宇宙世界觀ヲ以テ斷ズレバ、抑モ場末ノ各國ハ各自國ノ國家デアツテ、其レガ唯或時機間ダケ假設ノ國家デアルケレドモ、日本ノ國家ハ現區域内ノ日本ノ國家デハナクシテ、世界ノ人智ガ進メバ進ムホド擴大トナルベキ種類ノ國家デアツテ、遂ニハ世界一團ノ大平和ナル大國家トナルノデアルカラ、日本ノ國家ハ其實!!世界ノ國家デアル、故ニ現區域内ノ日本臣民ハ勿論、將來ノ日本臣民(即チ世界全人類)モ區々タル小愛ノミニ拘泥セズシテ、世界ノ本ツ國ヲ衷心カラ愛スルト云フ大愛ノ情ヲ濃厚ニシテ進マバ、世ヲ益スルコトガ益シ尠少デハナイノデアル、**嗚呼愛ナルカナ大愛ナルカナ!!**、然ルニ世界ノ本ツ國

ダモ識ラヌ様ナ場末人等ノ思想ハ、到底世界ノ大平和ヤ大愛等ヲ議スルニ足ラヌ屁理窟ノ詭辯ガ多イカラ、全ク御話ニハナラヌガ、世界ノ本源地ノ人々マデモ斯ル詭辯的思想ニ感ブレテ恬然タル者ガ多クアル様デアル。

試ミニ見ヨ、道途又ハ座談ニ於テ「彼ノ人ハ愛情ニ富ンデ居ル」トカ、「彼ノ人ハ愛情ガ薄イ」トカ云フ言ヲ吐ク人ノ多クハ個人間ノ事ノミニ就イテ言ツテ居ル者ガ多クデハナイカ、又一般ノ圖書ニ散見スル「愛情」ナル文字モ國家ニ對スル情義デハナクシテ、區々タル個人間ノ小愛ニ就イテ書イタモノヲ多ク見受ケル次第デアル、甚シキハ醜戀思想ヲ以テ話シタリ聞イタリシテ居ル莫伽者モ稀ニハアル様デアル、斯ル文語ノ用途ヲ誤レル思想ガ滔々我國民ノ頭腦ニ感染シテモ、一般ガ之レヲ放任シテ願ミズ

對岸ノ火災視ダモセズ、毫モ用途ノ改革ヲ叫ブ志士ノ現ハレザル状態ニ在ルノハ、轉
吾人ヲシテ、眞ニ日本ニ國家ヲ想フノ情燃エルガ如キ學者アルカ識者アルカヲ疑ハシ
ムル次第デアアル。

左リトテ吾人ハ個人間ノ小愛ヲ無視スルモノデハナイ、勿論吾人ハ**大ハ小**
ヲ包含ス。ナフ眞理ヲ辨ヘ居ル者ナルガ故ニ、結局「大愛ヲ主トシテ小愛ヲ
從トスルヲ可トス」トノ論斷ニ歸着スルノデアアル、要スルニ著者ガ世人ニ希望スル所
ハ「**世界ノ本ツ國ヲ愛スル**」ト云フ**大愛ノ情ヲ層**
一層濃厚ニシ。以テ愛ナル文語ヲ口ニデモ筆ニデモ表ハスニ、區々タル
個人間ノ事ヨリモ國家的ノ方面ニ多ク使用シテ賞ヒ度イモノデアアル。

因ニ、日本ガ世界ノ本源地デアルト云フ證明ハ、「世界ノ王政復古」ナル書籍ニ動カ
スベカラザル六大證明ヲ擧ゲテアル卷頭ニハ數名ノ地方人(俗稱外國人)マデモ讚辭
ノ筆ヲ寄セテ居ル程ノ書籍デアルカラ、本源地人ハ世界ニ對スル義務トシテ、モ該
書一本ヲ熟讀玩味スルノ必要ガアラウト思フ。

第十三 修 養

世ニ「修養」ト云フ文語ヲ「修學」ト間違ツテ居ル人多クアル様デアアルガ「修養
トハ素ヨリ修學トハ異ツテ居ルノデアアル、**「修學」トハ農學デモ工學デモ商學デモ文學
デモ史學デモ法學デモ物理學デモ漢學デモ數學デモ天文學デモ醫學デモ産婆學デモ看**

護學デモ地理學デモ水産學デモ、何デモ其一種ヲ學ブデモ「修學」デアルガ、「修養」トハ全ク此等ト異ツテ精神上ノモノデアツテ、**精神ヲ鍛鍊シテ心界ノ秩序ヲ整へ、醜慾虚榮心等ヲ去ルノ自制心ヲ養ヒ心界ヲ向善ナラシムルノガ修養**デアル、故ニ修養ノ出來タ人ト修養ノ足ラザル人トハ、其心界ヨリ表ハレタル言行ニ於テ判明スルコトガ多イ、今修養ノ積メル人ト、修養ノ足ラザル人ノ表現セル言行ノ差異ヲ例示セバ左ノ如キモノガアル。

(い) 旅館ト飯屋ニ於テ表ハレタル一例

旅行ノ際、「高價ナ奢侈旅館ニ宿ラネバ自己ノ恥ダシナド、思フノ**虚榮心**アリテ

リテ自制心無キガ爲メ、未ダ質素ナ旅館ニ宿泊シ得ザル卑怯

ナ心事ヲ有スル人ハ、是レ未ダ猶太人ノいゑさきりすとノ數分ノ一ダモ、印度

人ノ釋迦ノ數分ノ一ダモ修養ノ足ラザル人デアル、又途中**晝餐**ノ際ニ高價ナ奢侈飲食

店デ喰ベナケレバ、知人ニ散見セラレタ時ガ恥ヂル、ト云フ様ナ**虚榮心**アリテ**自制力**

ナク、一碗一錢ノ質素ナ飯屋ニ入ルノ勇ナキ者モ、未ダ修養ノ足ラザル徒輩デアル。

之レニ反シテ、修養ノ積メル人士ハ、如何ニ財産ノ**餘裕**アルトモ、餘財ハ之レヲ世

界ノ本ツ國ト社會ノ爲メニ少シデモ多ク費サネバナラスト云フ様ナ心掛ヲ以テ、**些モ**

虚榮心ナドハナク、常ニ自己ノ身ニ要スル費用ハ犧牲的ニ詰メテ、**旅館**デモ**飯屋**デモ

進ンデ質素ナル所ニ入り、三浦將軍ナドノ如ク之ヲ快トシテ居ル。

(ろ) 湯屋ニ於テ發揮セル一例

世間ニハ、女ヲ目スルニ不公平ナ議論ヲ爲ス動物ト云フ人モアルカモ知レンガ、私ハ男性ヨリモ公平ナ議論ヲ致シマス。

修養ノ足ラザル人ハ、天ガ父母ヲ介シテ此世ニ生レタル我身ノ尊サヲ無視シ、四肢ノ手足無キ不具者ト同然、湯屋ニ行キテモ半病人デモナイ者ガ自ラ湯ヲ汲ミ體ヲ擦リ洗フコトヲ爲サズ、唯虛榮心ヲ發揮センガ爲メ自己ノ手ノ運動ヲ怠ツタ上ニ、無駄ナ金マデ出シテ湯僕ニ擦リテ頼ム馬鹿者モアル、殊ニ婦人間ニ此ンナ愚連者ガ多イノヲ觀レバ、一般ノ婦人ハ未ダ修養ガ足ラヌ者ガ男子界ヨリモ多イ證據デアアル。

抑モ天ハ初メ人ヲ造化スルニ、人ノ手ニ手拭ヲ以テセバ其人ノ身體ノ表面中如何ナ

ル部面ニモ届カヌ所ハナイ様ニ、動キノ巧妙ナル手ヲ附ケ給フデアアルノダ、然ルニ尊キ天ノ命ニ背イテ、身ニ附キアル手ヲ無キガ如クニ無視シ、唯虛榮心アリテ自制力無キガ爲メ、又ハ湯僕ニ諛ハシガ爲メ、自身ノ掃除ヲ自ラ爲サストハ**實ニ不埒**千萬ナコト、謂ハネバナラヌ、殊ニ婦人ナドガ「**膚ハ良人ノ外ナル他人ニ觸レシメテハナテヌモノ**」ト知リツ、**女湯ハ良人が來ルコトノ能ハザル所**ナルヲ幸トシ良人ノ心血ニ成レル財ヲ以テ、良人以外ノ男(湯僕)ノ手ヲ撫デ、貰フコトヲ愚ノ樂シミトシテ居ルナドハ實ニ呆レ果テ次第デハナイカ。

元來婦人ハ弱イ者デアアル、故ニ此弱イ身體ヲ有スル婦人ハ**益々四肢ヲ**

動カシテ成ルベク身體ノ健康ヲ圖ラネバナ

ラヌノニ、斯ル大事ナコトハ其チ除ケニシテ且ツ良人ノ心血ヲ得タル財ヲ尊重視セズシテ、湯僕ノ手ナドヲ自己ノ膚ニ觸レテ貫フコトヲ樂シミトスルナドハ、修養ノ足ラヌニモ程ガアリサウナモノダ、此罪ヤ獨リ其婦人バカリニ歸スベキモノデハナク、婦人ニ嚴訓ヲ施サザル鼻ノ下ノ長イ男子ニモ存スルノダ。

是ニ於テカ湯僕ハ、手ノ附イテ居ル人間ガ自ラ身體ヲ洗フコトヲ爲サヌ様ナ無修養ノ人アルヲ觀テ、彼湯僕ハ益々増長シ、乃公ニ金ヲ獻ジテ擦リ撫デヲ頼マヌ者ヲ懲ラシメテ遣ラントノ醜惡ナル奸智ヲ以テ、無禮ニモ横著ニモ天ノ命ヲ奉ゼル自洗者ノ前ヲ通ルニ、恰モ昔ノ大名ガ小百姓ノ前ヲ通過スルト同然、傍若無人ノ態度ヲ横行シ、時

ニハ天命遵奉者へ故意ニ水ヲ飛バシ掛ケルコトモアル、其ウナルト天ハ天命遵奉ノ正義者ヲ強ク擁護スル由ニテ、湯僕何者ゾト罵殺シテ、却ツテ正義者ノ持テル桶ガ強ク湯僕ノ體ニ衝キ當ツタリ、正義者ノ持チ歩ク水ガ湯僕ノ頭カラ着物ニ掛ツタリスル自然突發ノ現象ハ吾人ノ屢々實見シテ衆ト共ニ拍手喝采スル所デアアル、嘗ツテ東京芝區ノ某道路デ、平素謹慎ノ足ラヌ湯僕ニ或一人ノ正義者ガ出會ツテ、嚴談訓諭ヲ爲シ居ツタ所ガ、忽チ四方カラ多クノ人々モ來テ、如何ナル形式デ致シタカハ知ラネドモ大イニ平素ノ憤念ヲ此所ニ現ハシ、湯僕ハ遂ヒニ其場ニ倒レテ歩ムコトモ出來ヌ様ニナツタサウダ、是ニ觀テモ如何ニ世ノ公衆ガ湯僕ノ奸智ト不謹慎トヲ憎怨シテ居ルカガ判ルデハナイカ、併シ湯僕ノ惡意増長ハ、元來修養ノ足ラザル虛榮心アル墮婦人ヤ自

制力無キ墮漢等ガ**自身ノ手足ヲ無爲ノ駄物ト自ラ卑**
 視セルノガ原因デアアルカラ、現代ノ墮婦墮漢等モ今少シハ社會風教ノコトヤ、自身
 ノ運動ノ事等モ考ヘテ修養シ、眞ノ修養アル人々ノ如ク自己ノ身ニ要スル費ハ成ルベ
 ク詰メテ、少シデモ多クノ餘財ヲ造リ世界ノ本ツ國ト社會ノ爲メニ散ラス様ニナツテ
 貫ヒタイモノデアアル。

因ニ修養者、無修養者ノ發揮シタル事實ヲ右ノ外ニ掲グレバ、未ダ獨立生活ダモ出
 來ヌ者ガ、他者ノ酒ヤ煙草ヤ衣食住費ノ稍贅奢ナルヲ **觀夕時ニ自制**
カデ其ヲ欲シガラヌ者ヤ、自制力無クシテ欲シガツタリ盜ン
 ダリスル者ヤ、其他數限リノ無イコトデアアルカラ、茲ニハ唯以上二ツノ例ヲ掲ゲタ

デアアルガ、修養ナクトモ多少ノ常識ヲ有シテ居ル人々ハ、既ニ此少數ノ例ヲ見テモ
 「修養」テフ事ハ判ツタデアラウカラ「修養」ト云フ文語ヲ言筆ニデモ表ハス時ニハ
 注意シテ表ハスガ善カラウ。

第十四 吝嗇家 (汗の吝嗇家)

「吝嗇家」トハ人間ノ生存社會ニ於テ、出ス可キモノヲ出サズニ、吝ミ過ギル人ヲ吝
 嗇家トハ謂フノデアアル、即チ出セバ自己ト國家社會ヲ益スル汗ヲ出サナイノガ、吝嗇
 家デアツテ、汗ノ吝嗇家ホド人生ノ意義ニ背クモノハ無カラウ、若シ夫レ **汗ノ**
吝嗇家タリテ世ヲ渡ラント誤レル心掛ノ人アラバ、吾人人類ヲ日夜監視シツ、

アル天ハ、早晚其人ニ不幸ヲ與フルノデアル、故ニ人ハ如何ナル階級、如何ナル職務ニ拘ハラズ、各自其職業ニ對スル忠實ナル心掛ヲ以テ、汗ヲ吝マズ奮闘努力セネバナラヌノデアル。

誤レル一般ノ思想界デハ、金ヲ吝ム人ノミヲ吝嗇家ト云フ人モアル様ダガ、吾人ハ金ヨリモ**汗ヲ第一位**ニ置クカラ、汗ヲ吝ム者ヲ吝嗇家トハ稱シテ居ルノデアル、抑モ人ハ皆如何ナル階級職務ノ人モ、世界テフ一大事務所ノ一事務員デアルノデ、其各事務員ガ汗ヲ出シテ働クカラ世界ノ人類ハ御互ヒニ生存シ得ラル、ノデアル、故ニ、ドウシテモ金ヨリモ汗ヲ第一位ニ置カネバナラス、併シ金ヲ公共的方面ヤ、適當ノ交際費等ニ出シ得ル身分デアリナガラ、濫々トシテ出サヌノモ一種ノ吝嗇家デア

ルガ、此ハ單ニ「吝嗇家」ト云フヨリモ「金ノ吝嗇家」ト謂フノガ至當ノ稱語デアル、而シテ「金ノ吝嗇家」ノ多クハ汗ノ吝嗇家中ニ潜在スルモノデアル、要スルニ一口ニ「吝嗇家」ト稱スルニハ、金ノ吝嗇家ヨリモ**汗ノ吝嗇家**ヲ目指スコトガ盛ンニナラネバ、到底國民ノ強健モ産業ノ發達モ國家ノ富強モ期シ得ラレスデハナイカ。因ニ自己ノ人格卑醜ナルノ餘リ、自己ヲ敬稱セシメンガ爲メ、藝者ヤ娼妓ヤ妖婦ヤ、或種ノ新聞雜誌記者等ニ金ヲ與フレバ、其頂戴者方面カラハ褒メラレルカモ知レンガ、其シテ奴ノ癖ニ眞ノ吝嗇家デアツテ、汗ヲ出ス業務ヲ厭ガリ公共的小規模ノ事業等ニ金ヲ出スコトマデ厭フモノデアル、見下ゲ果テタコトデハナイカイ。

第十五 名譽と名聲

(道鏡も平清盛も金持も其他名聲家は多々)

文語ノ誤想誤解ガ、世ヲ誤リ國家ヲ毒スルコトハ既ニ天下識者ノ痛嘆スル所デアアルガ、「名譽」ト「名聲」トノ誤解誤稱ホド恐ロシイ危険ナモノハアルマイト思フ。

抑モ「名譽」トハ、至誠ガ基^{もと}デアツテ、**至誠ノ光リガ名譽**デアアル、「名聲」トハ唯「名高イ」ト云フ事デアツテ、「名聲」ハ至誠者ノミナラズ奸智ノ人デモ造リ得ルケレドモ、真ノ名譽ハ至誠ノ人及ビ至誠ガ基トナレル事物ノミニ有スルノデアアル、而シテ至誠ノ光リタル名譽ナルモノハ、其人ノ生存中ニ表ハレルコトハ稀デアツ

テ、死後ニ表ハレルコトガ多イガ、名聲ハ其人ノ生存中ニデモ勝手ニ奸智デ製造スルコトモ出來ルノデアアル、洋紙ヲ活字ニ染メテ田舎人ノ金ヲ集ムル^{ちやうがく}誅學講義録屋ノ會長ニツナテモ名聲ハ博シ得ルノダ、彼ノ和氣清麿公ノ如キ、楠公父子ノ如キ、高山彦九郎先生ノ如キ、林子平先生ノ如キ、蒲生君平先生ノ如キ、山鹿素行先生ノ如キ、吉田松陰先生ノ如キ、大西郷南洲翁ノ如キ、釋迦^{しやうか}ノ如キ、孔子ノ如キ、きりすとノ如キ、乃木大將ノ如キ乃至此等至誠ノ人々ニ類シタル至誠ノ人々ハ、各其爲ス事ハ異リテモ悉ク名譽ノ人デアルケレドモ、彼ノ僧道鏡ノ如キ、平清盛ノ如キ、若シクハ或富豪ノ如キ或偽政治家ノ如キ、或ハ此等ニ類シタル奸智ノ徒輩ハ名聲ノ人デアアルケレドモ、決シテ名譽ノ人デハ無いノデアアル。

若シ夫レ現代ニ於テモ、粗衣粗食ノ生活ハ致シテ居テモ、眞ニ國家社會人類ノ爲メヲ思ヒ、至誠以テ或事ニ盡瘁スルモノアラバ、必ズ其人ノ死後ニハ名譽ト云フモノガ伴フノデアアルガ、若シ自己ノ生存中ニ名ヲ博セントノ淺間シイ考ヘヲ以テ、此皇土ニ於テ狂和政體論トカ險政妖護トカノ詭辯ヲ弄シ、或ハ自己ガ民間ニ在ル時ニハ、營業稅全廢ナド、到底出來モセヌ議論ナドヲ吐イテ、人民ニ阿諛シテモ、一朝運好ク自己ガ大臣ニデモ成リ着イテカラハ、前言ヲ實行若クハ主張ダケモ爲シ得ヌザマノ卑劣漢アラバ、其レコソ「滔々タル馱辯家」「賣名手段ノ奸智者」テフ醜名ハ博シ得ンモ、斯ル名聲ハ名譽トハ天地ノ差ガアルノデアアル、故ニ名譽アル人ト名譽無キ人トノ區別ハ、能ク辨ヘテ居テ言筆ニ表ハサネバ、其稱呼ヲ

誤リ延イテハ、國家社會ヲ益セヌコト、ナルノデアアル。

因ニ我帝國ノ刑法第二百三拾條ニ「公然事實ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ其事實ノ有無ヲ問ハズ一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フ文句ガアルガ、此條文中ノ名譽ト云フ事ハ多分名義及ビ「人格」ノ事ヲ單ニ「名譽」ナル文字ヲ以テシタルモノデアラウト信ズル、故ニ如何ナル輕卒漢ニモ前科者ニモ馱辯家ニモ御都合主義ノ奸智者ニモ名義及ビ多少ノ人格ナルモノハアルノダカラ、此刑法ヲ恐レル人モ恐レヌ人モ、如何ナル不正者ノ名ヲモ毀損セヌ方ガ可カラウ、併シ國家社會ノ爲メニ言動ヲ敢テスル誠勇者ノ言動ヲ著者ハ勿論掣肘スルコトハ出來ヌノデアアル。

第十六 不能、労働—運動

(労働なる文語を葬れ)

昔、なほれおんハ「不能」ト云フ文語ハ不用ダトマデ言ツタソウダガ、吾人ハどこマデモ此「不能」ナル文語ノ必要ヲ感ズルノデアアル、即チ吾人ハ悪事ヲ好ム能ハズ、吾人ハ誇大ナル廣告者ノ奸策ニ惑ハサル、ガ如キ迂愚馬鹿タル能ハズ、吾人ハ國家社會ノ爲メニハ所信ヲ發表セザル能ハズ、吾人ハ場末(即チ外國)ノ醜軟思想ニ感染スル能ハズ、吾人ハ場末ノ事物ナリトモ皇國ノ爲メトナルベキ工業其他有益ナル事物ハ研究セザル能ハズ、又清キ水ニハ濁魚ノ住ミ得ザルト同然清キ思想ヲ有セル主人ノ側ニハ幾

人ノ濁レル男女モ永ク親シム能ハズ、テフ眞理ヲ發見セリ、斯クモ吾人ハ大イニ「不能」ナル文語ノ必要ヲ感ズルノデアアルガ、「労働」ナル文語ダケハ人生ニ不要ナルコトヲ主張スルノデアアル、而シテ何事モ汗ヲ出シテ働クコトハ「運動」ト謂フテ可ナリト自覺シタノデアアル。運動ハ人ノ心身ヲ健快ニスルモノデアアルガ、獨リ體操ト名ヅクルモノダケガ運動デハナイ、汗ヲ出スホドノ働キハ多クハ身心ヲ健快ナラシムル運動デアアル、見ヨ各自モ業務ニ四肢ヲ充分ニ働カシタ日ニハ食事モ進ムデハナイカ。

抑モ人生ニ於テハ、何事モ不愉快ニ感ジテ暮ラスヨリハ、愉快ニ感ジ

ツ、一生ヲ過ゴス方ガ人生ノ意義ニ適ツテ居ルノダカラ、人ガ職務ニ忠實ニ働クコトヲ労働ナド、謂ハズトモ可イコトデアアル、又其人ヲ目シテ労働者

ナド、蔑視^{べつし}セル態度デ曲稱セズトモ可イコトデアル、四肢ヲ働カシテ國家社會多數人類ノ生存上ニ福益ヲ與ヘツ、アル流汗^{りうあせ}勤勉^{きんけん}ノ人士等ガ勞働者ナラバ、頭腦^{づなう}ヲ痛メテ働カセル人々モ勞働者デアルガ、吾人ハ此「勞働者」ナル稱呼ヲ、最モ汗ヲ多ク出ス人々ノミニ向ツテ言フノガ氣ニ喰ハヌノデアルカラ、斯ル變手^{へんて}古ナ文語ハ絶對ニ此世ノ中カラ葬^{ほうむ}ツテ終マツテ、寧ロ正當ナル稱呼タル「天職運動」ト云フ文語ニ改メタラ、人生社會ヲ益スルコトガ蓋シ尠少デハナカラウト思フ。

今「運動」ナル文語ヲ大別セバ左ノ通り三大別スルコトガ出來ル。

運動

天職運動又ハ——有收運動
 義志運動又ハ——義勇運動
 遊散運動又ハ——無收運動

職業ニ貴賤ハ無イノデアルカラ、天ノ與ヘシ職業ヲ尙ビ勇ンデ働クコトヲ「天職運動」又ハ「有收運動」ト云ヒ義心ヨリ起リテ國家社會ノ爲メ又ハ或個人ノ爲メニ無報酬デ働クコトヲ「義志運動」又ハ「義勇運動」ト云ヒ、所謂散步ノ如キハ「遊散運動」又ハ「無收運動」ト謂フノデアル。常ニ机上ノ筆務等ノ如キ終日身體ノ活動無キ職務ヲ掌ル人々ハ殊更ニ遊散運動デモ致サネバ心身ノ健康ヲ増ス事ハ出來ヌノデアル。

第十七 勉強 (勉學をも勉強と謂ふ)

「勉強」トハ何事デモ強ク勉ムル事ガ勉強デアアル、例ヘバ或商人ガ暴利主義デ商品ノ數ヲ尠ク賣リテ勞ヲ尠クセントスルコトハ不勉強デアアル、之ニ反シテ手數ヲ厭ハズ薄利デ數ヲ多ク賣ラントスルノハ勉強デアアル、而シテ手數ハ勞デアツテ、此手數ノ多キハ即チ繁昌デアアル繁昌ハ暴利主義ニハ伴ハヌモノデアツテ、薄利主義ガ繁昌ヲ生ムノデアアル、故ニ繁昌ノ原素タル勞ヲ厭ハヌ薄利主義ノ商店ヲ目シテハ「勉強スル店」トモ謂フノデアアル、又農業其他各自ノ職務ニ勞ヲ厭ハズシテ強ク働ク人ヲ勉強家トモ謂フノデアアル。

何事モ強ク勉ムル事ガ勉強デアアル以上ハ、學問ノ研究ニ強ク勉ムルノモ勉強ト言ヒ得ルノデアアルガ、此レハ「勉學」ト謂フノガ正確ナル稱呼デハナイカ。再言スル勉強トハ何事ニ限ラズ勞ヲ厭ハズニ強ク勉ムルノガ勉強デアアル。

第十八 學者 (頭字の附ける幾多種類の學者)

昔ハ國學者、儒學者、漢學者等ヲ目シテ一口ニ「學者」ト謂フテ居タコトモアルソウダガ、今日デハ自國ノ國體學ニ精通シタ人ヲ「學者」ト謂ハネバナラス、ト言フ人々モアルガ、吾人ノ觀ル所デハ一口ニ「學者」ト謂フテ可ナルベキモノハ今ノ世ニ數多クハ無イノデアアル、皆部分的ノ學者デアアルカラ或科目ノ名稱ヲ頭字ニシタル何々學者ト謂

フベキモノデアル、例へば法律學者モ航海學者モ水産學者モ文學者モ理髮學者モ菓子製造學者モ哲學者モ醫學者モ裁縫學者モ語學者モ天文學者モ工業學者モ農業學者モ畫學者モ商業學者モ印刷學者モ製本學者モ處世學者モ易學者モ又ハ奸智デ名ヲ博セントスル賣名學者(劣等人格者)モ政治學者モ雄辯學者モ戰法學者モ、其他皆或一科目ノ蘊奧ヲ究メタ人々ハ一部分ノ學者デアルカラ、單ニ一口ニ「學者」ト稱シ得ベキモノハナク、多クハ皆頭字ニ或科目ノ略稱デモ附ケネバナラヌ何々學者デアル。

因ニ如何ナル方面ノ學者モ、世界人類ノ本源地タル日本ノ國體ダケハ辨ヘテ居ネバ國民トシテモ人類トシテモ立派ナ人トハ謂ヘヌノデアル。

第十九 家の衛生 (薬を買はずとも出来る衛生)

人體ノ衛生ト云フコトハ、既ニ多クノ人々ノ言フ所デアツテ、隨ツテ人體ノ衛生ニハ注意スル人モ多イガ、「家ノ衛生」ト云フコトハ未ダ之ヲ人々ノ口ニ言フコトガ盛ンデナイカラ、折角金錢ヲ要シテ建築シタ貸家モ、永久ノ保存ガ出來ズニ多大ノ不利益ヲ被ムル家主ガ多イ様デアル、此ハ家主一人ノ損耗ナルノミナラズ、多數家主ノ損ハ則チ國家社會ノ損デアルカラ、吾人ハ無智ノ家主ニ同情スルト同時ニ一面ニハ國家社會ノ爲メヲ想フテ「家ノ衛生」ナル文語ノ盛ンニ流行センコトヲ希望スルノデアアル、然ラバ如何ナル方法ガ最モ家ノ衛生ニ適ツテ居ルカ、例へば爰ニ一軒ノ空家アラバ

十日目又ハ一週間目位イニ態々人夫ヲ雇フテ掃除シ、或ハ防腐劑ヲ買ツテ用ユルコト等ヲ爲セバ結構デアルガ、其レデハ費用ガ懸ツテ到底家主ノ堪ヘ得ベキコトデハナイ故ニ吾人ハ世ノ憫ム可キ家主ヲ救ハントノ目的デアルカラ、家主ガ多クノ衛生費ヲ要セズニ殆ンド**只デ家ノ衛生ガ出來ル方法**ト、又家主ガ收入ヲ得ツ、家ノ衛生ガ出來ル方法トヲ、今左ニ教記シ置カン。

都會ノ時々空家トナル家ハ、漸ク十五年カ二三十年シカ保テヌ短イ壽命ノ家ガ多イガ、田舎ノ毎日人が住ム家ハ空家トナラヌ故、二代モ三代モ永イ壽命ヲ保チ得ル家ガ多イ、抑モ家が一旦空家トナレバ、戸ノ隙キ間ナドカラ不潔ナ塵埃ガ吹き入りテ積リ、或ハ濕氣ノ爲メニ家ノ中ノ雜作ガ朽チテ終フカラ家ノ壽命ガ短イノデアアル、之ニ反シ

テ人が家ニ住メバ薪炭又ハ瓦斯等ニテ必ず食食用洗濯用等ノ火ヲ炊クカラ、之ガ爲メ其家ノ濕氣ヲ除去スルト同時ニ、木ヲ喰ヒ潰ブス蟲類ヲ煙ガ殺菌スルコトガ多ク又毎朝戸ヲ開ケルカラ日光ト新鮮ナル空氣トヲ座敷ニ入レ得テ、且ツ**家主ガ頼**

マヌデモ住人が毎日掃除マデ致スカラ不潔ナ塵ナドガ溜マル暇ガ無イカラ、家ノ壽命ガ長ク保テルノデアアル、結局、人が住メバ家ノ衛生トナリ、人が住マズニ**空家トナレバ家ノ不衛生トナル**ノデアアルカラ、空家ヲ有スル家主ガ衛生費ヲ要セズシテ家ノ壽命ヲ長カラシメント欲セバ、宜シク家賃ヲ無料ニテ或期間ダケ人ニ住ンデ貰ヘバ可イ、又收入ヲ得ツ、家ノ壽命ヲ永カラシメント欲セバ、**借家人ガ永住シ得ル程ノ家賃**デ住ンデ貰ヘバ、

月々ノ家賃モ滞ラズニ収入ヲ得ツ、家ノ壽命ヲ長カラシムルコトガ出來ルノデアル、若シ借家人ガ永住シ得ザル程度ノ家賃ヲ貸セバ其家ハ一生涯ニ幾度モ空家トナルコトガ生ジテ、家ノ壽命ハ短クナリ結局家主ノ損トナルノデアル、故ニ近來**家ヲ愛シ智識ヲ有スル家主**ハ貸家ノ空家トナルヲ不衛生ナリト心得、又借家人ヲ「家ノ衛生者」ト心得居ル故ニヤ、極力家賃ヲ廉價ニシテ家ノ衛生者ヲ一代モ二代モ住マハシメテ置ク識者モアル。

因ニ無智ノ家主ハ物理モ心理モ辨ヘヌ故、「家ノ衛生者」ヲ自分ヨリモ卑シイ意義ノ者カト誤解シテ居ル家主モ往々在ル様ダカラ、苟クモ此文語ニ關スル書籍ヲ讀ンダ人士ハ借家人ノ事ヲ「**家ノ衛生者**」トカ「**家ノ神**」トカ謂ヒ、又空家ヲ

見タナラバ、其ヲ空家ト言フヲ止メテ「不衛生ナ家」ト謂フ様ニ努メタナラバ、一人一人ノ聲ガ自然多衆ノ流行語トナリテ、不衛生ナル家主ヲ救フ事ガ出來、延テハ國家社會ノ爲メニモナル事デアラウト信ズル。

第二十 節操 (男の節操美)

(小倉女や偽志士等は一層の謹嚴を要して可ならん)

私ハ此問題ニ就テモ又公平心ヲ持シテ論決致シマス。

從來「節操」ト云フ文語ヲ、婦女ノ方面ノミニ就イテ多ク用ユル弊ガアル様ダガ。此節操ヲ文語ハ婦女方面ヨリモ寧^お口、節操ヲ重ンゼザルベカラザル男子ノ方面ニ多ク使用シテ善イ文語デアアル。抑モ婦女ノ方面ニ於テハ、唯個人的男女ノ關係ニ於テ節操

問題が起ルガ。男子界ニ於テハ、男女ノ個人的關係ニ於テノミナラズ、政治的方面ニ於テモ重大ナル節操問題が起ル事ガアル。故ニ節操ナル文語ノ使用程度ハ、女子方面ヨリモ男子方面ニ向ツテ多ク使用セネバナラヌ次第デアアル。

然ルニ多年因襲的ニ此節操ナル文語ヲ婦女界ノミニ向ツテ多ク使用シ來リシ故ニヤ、男子界ニ於ケル堅イ人ハ**非常ナル迷惑**ヲ被ムリ、又一方ニハ無節操ノ墮落者ガ出現スル様ナ現状デアアル。

例ヘバ政治家タル者ハ、如何ニ自己一私人ノ爲メニ有利ナル事アリトモ、其幸利ヲ目的トシテ國家ニ關スル主義ヲ濫リニ變節スベキモノデハナイ。即チ一私人ノ爲メニ國家ノ事ヲ犧牲トスベキモノデハナイノニ、自己ガ何カ有利ノ大臣ニデモ成リタイ焦

慮心カラ、恰モ股ノ膏藥ヤ墮落婦人等ノ如ク、彼方ニ附イタリ此方ニ附イタリシテ、自己ノ御都合主義ノミヲ圖ル無節操ナ態度ガアツテハナラヌ。然ルニ明治大正ノ世ニ**斯ル不埒ナ無節操漢**アリト聞クガ、男子ノ墮落モ是ニ至ツテハ最早、藝妓娼妓モ淫賣婦モ到底及ブ所ニ非ズデハナイカ。是レ從來男子界ニ節操ナル文語ノ使用ガ盛ンデ無イカラ、ツイ不幸ニモ斯ル無節操ナ不埒漢ガ政界ニマデ現ハレテ、**男子界ノ體面ヲ汚ガス**ニ至ル次第デアアル。然ラバ自今此節操ナル文語ハ益々男子界政治界等ニ盛ンナラシメ、以テ斯ル無節操漢ノ絶對的不出現ヲ圖ラネバ、男子界ノ面目ガ立タナイデハナイカ。

次ニ話ハ異レル堅イ男子ノ話ダガ、世人ハ、個人的男女間ニ係ハル**男子界**

ノ節操美

ト云フコトヲ、因襲ノ久シキ多年忘却シ居タル故ニヤ、現代ニ於ケル節操ノ堅キ男子等ハ非常ニ迷惑シテ居ル人多イノダ。其ハ性慾逞マシキ或婦女等ガ刑法第七十七條ノ男子ト同ジ罪ヲ犯シテモ、**男子ハ黙ツテ居ネバナラヌ**、又忍耐心無キ一般ノ婦人ガ或男子ノ家庭ニ幾人モ出代ハリ入り代ハリシテ、其家ノ權威ヲ蹂躪スルト同時ニ社會ノ風紀ヲモ害スルニ至ツテモ、男子ノ方デハ致方ガ無イ、斯クモ我儘勝手ヲ屁トモ思ハヌ程度ニ今日婦人界ノ心理状態ヲ増長セシムルニ至ツタノハ、當サニ是レ立法者ガ、男子ニ節操堅キ者アルヲ忘レテ居タ爲メデハナイカ。男子ノ操ヲ認メザリシ結果ノ現象デハナイカ。

又操ノ堅キ男子ガ、若シ女子事務員ヲ置イタリ、或ハ婦人ヲ己レノ配遇ノ候補者ト

シテ、名義ハ何トシデ、モ先ヅ男子ノ家ニ同居セシメ置キ、男子ハ其婦人ノ心ノ判明スルマデハ、同居シテ居テモ**尊キ男子ノ操ハ一二ヶ月ハ女ナド**

ニハ許サヌ、ト我慢強ク自制忍耐ノ勇氣ヲ持續シテ居レバ、數月ナラジ半月モ經タヌ内ニ婦人ノ方カラ醜望的ナ話ヤ舉動ヲ現ハス、其時**男主ガ肱砲**

鐵ヲ與フレバ、女子ハ其翌日カラ面目ナク直チニ出離シテ行ク、其レデモ世人ハ見ヌ内部ノ事ダカラ、男子ノ操ノ堅サヤ美シサヲ褒メナイ、却ツテ跳ネラレタ醜望婦ノ捏造的流言ヲ信ズルガ如キ**輕卒ナ不見識ナ社會**デアルカモ知レヌ。此レニそつくり似タ話デ、著者ノ熟知セル嚴格無比ナル一男子ノ行動ニ於テ、一ノ奇談ガアルカラ左ニ掲ゲテ、以テ男子界ニ向ツテモ**「節操美」ノ讚辭**ヲ與

ヘラレン事ヲ著者ハ衷心社會ニ希望スル。

其嚴格無比ノ一男子ハ面容柔軟ニシテ、内心古武士ノ如キ果斷

カアル男デアルガ俗眼カラ觀タラ少シク意地ノ強過ギル人カモ知レン。此男

主ハ、銀行、會社、郵便局ナラザル家ニモ女事務員ヲ置イテ差支ヘハ無カラウ、トノ自信デ、從來候補婦人ノ外ニモ屢々女事務員ナドヲ幾人モ置イテ居タガ、何レノ女モ何レノ女モ無言ノ或醜望ヲ達セントシテ、其節操硬キ男主カラ一撃ノ下ニ跳ネラレテハ立チ去リ行クトノ話デアル。甚ダシキハ其家ニ來テカラ一週間モ絶タヌ内ニ、厚カマシクモ男主ニ何事カラ表情ニテ乞フテ、思ヒ叶ハズニ立チ去ツテ行ク墮婦モアルソウダ。斯クモ幾十人ニデモ肱鐵ヲ喰ハセル硬骨男

主ノ堅キ節操ヲ賞讚スル人ガ尠イカラ、恆勇ナル男主ハ益々意地

ニナツテ、世人ノ多クガ「男ノ小野小町」ト褒メルマデハ、幾人ノ女ヲ入家セシメテモ肱鐵ヲ與ヘテ、尊キ男子ノ操ハ許サヌ覺悟ダソウダ、併シ女デモ醜猥心ナクシテ自制力ノ強キ清淨無醜ノ淑女ハ、素ヨリ醜望ヲ男主ニ乞ハヌカラ、幾年男子ガ操ヲ堅ク持ストモ、平氣淡泊デ何時マデモ居續ク譯デアル。

右ハ一例ニ過ギヌ事實ノ話デアルガ、右ノ硬骨男子ノ如ク、男子ノ操ハ婦人ヨリモ尊イト云フ觀念ト自信トガ男子ニ有ルノハ、實ニ感讚ニ値スベキコトデハナイカ、否男子ノ操ガ女ノ操ヨリモ尊イコトハ判リ切ツタ事デアル、ケレドモ世ノ多クノ男子連中ニハ自重自愛スル者ガ尠ク、却ツテ男

ヨリモ女ガ尊イ價值ノモノカト誤想シテ、貴重ナルベキ男子ノ方カラ、劣價ナルベキ醜猥婦ナドニ**金錢マデ出シテ**男子ノ恥辱トモ想ハヌ馬鹿モアル。斯ル放蕩兒ノ心事ハ、前ノ硬骨男主ニ比スレバ實ニ雲泥ノ差ガアルノデ、是レ未ダ世間ガ男子界ニ向ツテ「節操」ナル文語ノ使用ヲ盛ンニセヌカラデアアル。依テ世人モ硬骨男子ヲ見タナラバ「節操美」ト云フ讚辭ヲ與ヘ、又自卑自賤ノ收蕩兒ヲ目シテハ「無節操漢」ト云フ誠評ヲ下スナド、兎モ角「節操」ナル文語ハ之ヲ多ク男子界政治界等ニ使用シテ、益々男子方面ノ節操ヲ鞏固ナラシメテハ如何。著者ガ斯ク主張スルノハ、別ニ世ノ一般ノ奥様方カラ賄賂ヲ受ケテ書イタノデモナオ。

第二十一 苦學生 (樂學生、勇學生)

何處ノ那魔學者ガ製造シタ文語カハ知ラネドモ、**學**ビノ道ヲ**樂**シム人ヲ「苦學生」ナド、名ヅケタ文語ガアル、此レハ「道樂」ト云フコトガ「道ヲ樂シム」ト云フコトダモ識ラヌ者ノ命名シタ文語デアラウト思フ。

或種ノ道ヲ樂シムコトガ道樂デアルト同時ニ、**學**ブコトヲ**樂**シムノモ「樂學」デアアル、若シ學問スルコトヲ苦トスル者ナラバ若學生ト命名スルノモ當然ダカ、**學**問スルコトヲ**樂**シミトスル人ハ「樂學生」デアアル、父兄カラ充分ニ學費ヲ送ツテ貰ツテ勉學スルコトナラバ、敢テ絶倫ナル勇氣ノ無イ人デモ誰デモ出來ルガ、他ニ或社會的

ノ事業ヲ營ミナガラ、若クハ他人ニ使ハレナガラ艱難ニ打テ勝チテ獨學デモ勉學ヲ樂シムコトハ、到底勇氣無キ卑怯者デハ出來スコトデアル、卑怯者ハ業務ノ餘暇ヲ勉學ニ充ツルノ勇無ク、折角汗勞得タ金錢ヲ無益ナ方面ニ散ジテ醜劣ナル慰安デモ得ントスルノデアルガ、樂學生ハ流汗玉成ス業務モ厭ハズ奮闘シツ、一面ニハ勉學ヲ樂シミトスル勇氣ガ有ル、故ニ吾人ハ斯ル勇氣ノ永續スル勉學ノ人ヲ目シテハ當然「**樂學生**」又ハ「**勇學生**」ト名ヅクベキコトヲ茲ニ斷言シテ發表スル次第デアル、斯ク斷ジ來レバ世ノ勇學生諸君ハ、人ニモ天ニモ毫モ恥ヅル所ノ無イ實ニ國家有望ノ人々デアルカラ、自重自愛シテ驕慢心ナドヲ起スナク、益々人格ノ修養ニ努メツ、業務ト勉學トニ勇氣ヲ傾注スベシダ。

第二十二 男女同權

(義務多き男子界よりの希望)

私ハ此問題ニ就テモ公平無偏ノ心理状態ヲ以テ論決致シマシ。

男女同權ニ男女同權ニ是レ何ノ意味、何ノ目的ヲ以テ言フカ、吾人ハ斯カル文語ノ世ニ現ハル、ヲ頗ル怪訝トシテ、其同權ヲ女性ガ叫ブ必要ノ有ルヲ信ジ得ザルモノデアルガ、既ニ此文語ノ現ハレアル以上ハ論斷セズニ棄テ置ク譯ニハ行カヌ、抑モ現代ノ人々ガ男女同權ヲ叫ブノ何ノ事デアルカニ**權威**ハ他ト協定セズトモ自ラ人格ノ上ニ發揚スルモノデアツテ、「**權利**」ハ協定ノ上ニ於テ成立スルモノデアルカ

ラ、まさか「權威」ノコトデアアルマイ、「權利」ヲ目的トセル男女同權デアラウ、抑モ
權利義務 權利義務トハ如何ナル意義ノモノカ、今權利ナルモノ、解リ易キ一
二ノ例ヲ擧グレバ左ノ通りデアアル。

一、金デモ家デモ土地デモ又ハ其他ノ物品デモ、貸主ハ權利者デ、借主ハ義務者デア
ル様ダガ、併シ貸主ハ借主ト協定セル一定ノ期間ダケハ請求モ爲サズニ貸シテ置ク
義務ガアル、又借主ハ貸主ト協定セシ其期間ダケハ、借リシモノヲ自由ニ使用スル
權利ガアルガ、期限マデニハ必ラズ返済スベキ義務ガアルノデ、貸借者何レデモ其
義務ヲ果サヌ者ハ、人道ノ第一歩ヲ誤レル不徳義者タルヲ免レヌノデアアル、是ニ於
テカ貸借兩者ハ同權デアツテ、權利ニハ必ズ義務ガ伴フモノデ、義務ノ伴ハザル權

利ト云フモノハ無イノデアアル。

一、株式會社ニ於テ、金額ノ多キ券面ヲ所有スル人ハ其會社ニ多クノ權利ヲ有スルノ
デアアルガ、之レモ一朝其會社ガ正當ナル意義ノ失敗ニ陥リタナラバ、權利者タル株
主ハ株券ヲ水泡ニ歸スル義務ガアル、又失敗ニ陥ラヌ會社デモ、株主ハ或時機マデ
ニ其會社ニ支拂ツタ資金ヲ、据ヘ置イテ、會社ヲシテ有效ニ使用運轉セシムル義務
ガアルカラ、結局之レモ同權トナルノデアアル。

國家社會ヤ家庭ニ於ケル男女同權ヲ希望云々スル人モ如上ノ事實ヲ識ラバ、敢テ事
新ラシク權利ノ同權ヲ云々スル必要モ無イデハナイカ、併シ男子ハ左ノ如キ事狀ガア
ルカラ、女子ト同等ノ逸樂權ヲ得ント叫ブ必要ガ無イデハナカラウト思フ。依テ左ニ

其實狀ヲ明記シテ見ヤウ。

一、金品ノ貸借ヤ會社ノ株券ニ於ケル權利ノ多少ヲ觀テ、女モ結婚ノ當初カラ男女同等ノ財產權ヲ提供シテ結婚シ、家庭ヲ作りテカラモ、男子ガ頭腦ヲ惱マシ四肢ヲ働カスホド女子モ働ケバ男女同權トナルニ違ヒナイガ、併シ悲シイカナ^ト女子ハ先天的ニ男子程ノ頭腦ヲ有シテ居ラス、譬^{たと}ヒ頭腦ハ男子ニ優レル者アリトモ、又財產權ハ男子ヨリモ多ク提供シタリトスルモ、**女子ノ多數ハ**殆^たんど毎月數日間ハ**男子ホドニ奔走モ勞働モ出來又定病**ヲ有シテ居ル、是ニ於テ^ト最初ニ同權ノ財產ヲ提供シテ結婚セシ女子モ、家庭ニ入りテカラハ男子ト同權者タルノ義務ヲ盡シ得ナイノデアアル。

國家社會ニ於テモ然リデ、議政壇上ニ徹夜デ國政ノ是非ヲ爭フノ場合又ハ**破邪顯正**ノ大道徳ヲ行フベキ戰場ナドニ於テ、如何ニシテモ定病所有ノ女性ハ男子ト同等ノ程度ニハ仕事ガ出來ヌノデアアル、權利ト義務トガ相伴フベキモノタル以上、**女子ハ衷心感謝的ニ**權利ヤ權幕ヲ當然男子ニ所有セシメ置カネバナラヌ次第デアアル。

一、又男子ハ、服從ノ美德アル妻女ヲ養フベキ義務ガアルノダカラ、結婚前タリトモ財產ヲ或婦人等ノ如ク無財產ノ状態ニ陥ラシメテ可ナルノ自由ヲ有セズ、婦人ノ入り來ルベキ家庭ヲ造ル前ニ、結婚當時カラ婦人ヨリモ比較的多クノ財產ヲ義務的ニ据エ置キ、結婚後ハ又家族ノ**自然奴隸**タリテ働クノ觀アルト同時ニ、國家

社會ノ爲メニ頭腦或ハ身體ヲ比較的女子ヨリモ犧牲的ニ働クコトガ多イ、男子ハ斯クモ數多キ義務ヲ有スルノニ、女性ハ唯良人ノ命ニ從フ義務ト良人ヲ慰ムル責任ガアルノミデ、此レトテ正確ナル意義ヲ以テ謂ヘバ義務責任デハナク美德デアアル、服従ハ實ニ女子ノ美德デアリ又女子特有ノ德權デアアル、女子ハ此德權アルガ故ニ、若シ自己ノ良人ニ對スル此美德權ヲ他ノ婦人カラデモ奪ハルレバ、忽チ嫉妬心マデ起ルデハナイカ、女子ニシテ自ラ此美德權ヲ棄テル者ハ實ニ女子ノ一大恥辱デアツテ、人間トシテノ價值ノ無イモノデアアル、併シ此絶大ナル德權ヲ能ク保持スル婦人ハ、偉大ナル無形ノ權威ヲ有シテ居ルノデアアル。

詮ジ來レバどうシテモ男苦女樂トナルカラ、女子ガ男子ニ權利ヤ權幕ヲ持セシムルニ衷心感謝的デナクンバ、男子ハ無言無聲ノ壓迫ニ堪ヘ得ザルノ極、女子ト同等ノ逸樂權ヲ得ンコトヲ叫ブノモ敢テ無理ノナイ話デアアル。

若シ夫レ、婦人ガ言語ニ行爲ニ男子ノ心理状態ヲ慰ムルヲ忘ツタナラバ、其ハ精心的ニ男子ヲ虐待セルモノデアツテ、一家ノ不利ナルノミナラズ社會人道上ノ大罪惡デアアル、**斯ル怠慢**、**斯ル虐待**、**斯ル大罪惡ヲ婦人ノ權利**ナト、誤思スル者アラバ、其ハ未ダ權利義務ノ何タルヲ識ラヌ徒輩ノ寢言ト謂フベキモノデアアル。

要スルニ男女同權テフ文語ヲ口ニスル以上ハ、其權利義務ヲ辨ヘテカラ言筆ニ現ハ

サネバ、識者ノ腹ノ底そこデ蔑笑べつせうサレルコトガ到來スルカラ、同權ヲ云々スル人ハ注意スルガ善イ。今左ニ東哲天丁氏ノ格言ヲ掲ゲン、

天丁曰ク、「遊惰ハ婦人ノ權利ニ非ズ」ト、

又曰ク、「慰安役ノ美德權ヲ適用セザル婦人ハ精心上ノ虐待者ナリ」ト、

又曰ク、「身分相當テフ口實ノ下ニ遊逸ナルハ惡風ノ範ヲ世ニ示スモノ也」ト、

第二十三 誇大 (僞大をも含む)

「誇大」ト云フ文語ノ字義ハ「大ヲ誇ル」ト云フ字義デアルケレドモ、其意義ハ「僞大」ト云フ事ヲモ含ンデ居ルノデアアル、而シテ誇大ヲニ大別スレバ、一ハ「誇大妄想」デア

ツテ、一ハ「誇大奸策」デアアル、今左ニ其假例ヲ示シテ説カン。

「誇大妄想」トハ、妄みだリニ必要以外ナ事ヲ想像スル事デアツテ、例ヘバ未ダ社會的經驗ニモ富マナイ青二才ナドガ己レノ身ニ有スル諸格ノ程度ヤ境遇等ヲモ熟慮セズシテ「妄みだリニ誇ほめリ氣きニ大ナル目的ヲ想像スルトカ、或ハ世界ノ人が至高至貴ナル世界ノ主神サヘ厚ク崇拜スレバ事足ルノニ濫みだリニ其以外ノモノヲ崇拜シヤウト思ツタリ、或ハ女子大學ヤ師範學校ヤ高等女學校ナドヲ卒業シタマ、デ未ダ社會學校ニ於テハ劣等生タル婦女等ガ「既ニ自己ハ社會上ノ地位ヲ捷かチ得タルモノカノ如ク妄みだリニ自身ヲ誇大ニ想ツタリ、或ハ天ヨリ本世界統治ノ使命ヲ享ケ居ル日本臣民ガ「妄みだリニ月界星界ノ人類マデヲモ統治セン」ト想フガ如キ、其他何事ニ限ラズ餘リニ大ナル事ヲ誇ほめリ氣きニ想

フノガ「誇大妄想」デアル。

而シテ右ノ誇大妄想ハ餘リニ直接ニ人ヲ害スル事ハ尠イガ、一方ノ「誇大奸

策」誇大奸策トナルト世人ヲ直接ニ害スル事ガ實ニ夥シイノデアアル、其誇大奸策

ヲ爲ス奴ニ限ツテ其心事ハ如何ニ陋劣デアツテモ、己レノ生存中ハ體面ヲ街フコトヤ、

世間ヲ馬鹿ニシテ上下ノ人々ヲ籠絡スル事ナドニハ拔目ナク實ニ奸巧ナモノデアアル。

例ヘバ賣藥製賣屋デモ白粉製賣屋デモ、又ハ洋紙ヲ活字ニ染メテ書冊ノ形チニ製造

シテ販賣スル講義録屋デモ、廣告デ世人ニ知ラセルト云フ眞面目ナ考ヘダケナラバ、裁

判所ヤ府縣廳ノ廣告ヤ巡查看守養成所ノ生徒募集ノ廣告ナドノ如ク、活字モ餘リニ大

ナラザル、文モ眞面目ナ廣告ヲ爲シテ善イノニ、彼等誇大主義ノ奴等ノ品

物ハ其シナ眞面目ナ態度デハ賣レヌ劣品デアルカラ、彼等奸徒ハ致方無ク高價ナ廣告

料ヲ支拂ツテ、世ノ小人物連ノ眼ヲ眩惑セシムル様ナ大ナル廣告ヲ出シ、文モ又世間ヲ

馬鹿ニシタ廣告文ヲ出シテ恬然タルモノガアル、其レデモ賣行ガ惡イト思ツタ時ハ、

借錢シテ、モ誇大ナ家屋ヲ造リテ其建築物マデ廣告ニ刷リ出

シテ小供ダマシノ様ナ事ヲ演ズル賣藥屋、白粉屋、講義録屋等モアル、尙ホ甚ダシキ

ハ自己ノ人格ノ陋劣ナル餘リ、自己ノ名ヲ會長トスル事ヲ神モ人モ己レノ良心モ許サ

ヌカラ、名聲アル醜陋心アル人ナドニ、法律上ノ罪ヲ遁レ得ベキ名稱ノ下ニ賄賂

ヲ贈ル内約ヲ定メテ、其名聲家ヲ表面ダケ會長トカ顧問トカ其他種々ノ役

名ヲ附ケテ、世ノ迂愚ナル青少年ヲ惑ハシタリ煽動シタリスル不埒千

萬ナ狡義録屋モアルソウダ、斯クシテ儲ケ得タ金ヲ、正直ニ告白スレバ「世間多數ノ迂愚者ヲ惑ハシテ暴利ヲ得タリ」ト告白スルノガ正當デアルケレドモ、其レデハ化ノ實ガ表ハレルカラ致方ナク「基礎強固」トカ曲ゲ附ケタ廣告文字ヲ出スソウダ、(化ノ皮ハ實ヨリモ早ク既ニ廣告ヤ借名手段デ明カニ表ハレテ居ルダラウ。)

實ニ怪シカラシテハナイカ、世間ヲ馬鹿ニセンガ爲メニハ、有力ナル實地教授ノ中學教師連ヲマデ馬鹿ニシメ意義デ「本獐ニ入會スレバ中學校ニ通學シタト同等ノ學カアリ」トカ飛ンデモナイ僞大ナ廣告文ヲ出シ、或ハ實力ノ有無ニ拘ハラズ卒業證書販賣ヲ爲シタリシテ、我日本ノ學界ヲ誅毒スル誅學會トカ云フ

門構へノ山
師書店モアルト云フコトデアルガ、幾ラ斯ル僞大誇大ナ廣告ヲ出シテ其奸智本

部ヤ、名義貸主等ガ暴利ヲ擷ミ集メタカラトテ、決シテ其入會者等ガ中學校ノ實力アル教師ノ發聲ニ就イテ直接修學シタ程ノ學力ガ附クモノデハナイ、是レ毎日監督的ニ教授スル教師ト云フ實體者ガ毎日生徒ノ眼前ニ現ハレナイカラ、感情ノ動物タル人間ノ頭腦ニハ、狡義録ヲ一年ヤ二年讀ンダカラガ、實地教授ノ五年間ノ中學校通學ニ及バヌ事ハ暗夜ニ火ヲ見ルヨリモ明カナル事デハナイカ、若シ譬ヒ稀レニ講義録デ優秀ナ學生ガ出來タトシテモ、其ハ其ンナニ世間ヲ馬鹿ニセル狡義録ヲ讀マヌデモ天性優秀ノ人デアルカラ他ノ書籍ヲ讀ンデモ却ツテ優秀ナル成功者ト成リ得ル事ハ明カナ話デアル。見ヨ古モ今モ大學者大成功者連ハ其ンナ講義録ヲ讀マヌバ大學者大成功者トハ成リ得ザリシカ、事實ハ然ラズ、斯ル奸策屋ノ狡義録ガ未ダ世ニ現ハレモセヌ

前カラ大學者大成功者連ハ皆他ノ讀書ヲ以テ大成功シテ居ルデハナイカ、故ニ誇

大ナ廣告ヤ借名會長手段ヤ證書販賣 ナドヲ爲セル

奸策屋ノ講僞録ナドヲ讀マズトモ、他ノ書籍デモ天才者ハ其天才ヲ成功ニ發揮スルコトガ出來ル、ト云フ證明ガ確カデアアルデハナイカ。

又東京法律學院トカ云フ如何ハシイ奴ハ、巡查志望者ノ豫習二ヶ月以上ナルベキヲ一ヶ月卒業トカ二週間卒業トカノ僞大ナ廣告ヲ爲シ、甚シキハ薄ッペラナ全百頁餘ノ全一冊物ノ中ニ五ヶ所ダケ色紙ヲ入レテ其レヲ全五冊ナド、誇大モ極マレル廣告ヲ平氣デ致シテ、世ノ巡查志望者連ヲ釣ルソウダガ、其レニ惑ハサレタ人々ハ呆レテ後ハ益々恨ミヲ重ネツ、アル者ガ多イソウダ、其代リ眞面目ナ巡查看守養成所ノ廣告ハ眞

面目ノ效果トシテ人カラ人ヘノ口傳談話ニテ益々信用ガ増シ寄宿生モ通學生モ常ニ満員ノコトガ多イソウダ。

大體、何學會トカ何學院トカ云フ者ノ多クハ、一種ノ洋紙販賣主義デ唯洋紙ヲ活字ニ染メテ世ノ迂愚者ニ賣リ附ケルガ如キモノデアアルカラ、廣告モ裁判所ヤ縣廳ノ廣告ナドヨリモ僞大ナル白粉賣藥等ノ如キ大廣告ヲ出シテ世人ヲ釣ルソウダ。

因ニ道途世人ガ「奸策デ誇大ナ建築ヲ成ス程度ニ金儲ケヲ爲ス誇大奸策ノ徒ヲ未ダ當局者ガ一刀兩斷ノ大檢舉ヲ爲サズ其撲滅ヲ圖ラズシテ奸徒ノ橫暴跋扈ヲ逞シクセシメ措クノ裏面ニ如何ナル事情アルニヤ」トノ談話ヲ聞クコト、吾人一再デハナク度々聞ク所デアアルガ、其ハ兎モ角トシテ「誇大」ナル文語ハ先ヅ前述シタ様ナコトヲ謂フ

ノデアツテ、本章ニハ唯少數ノ例ヲ假リニ示シタ丈ノコトデアル。

第二十四 新聞

「新聞」トハ字義ノ如ク「新シク聞ク」ト云フコトデアツテ、諸君ガ毎日家人ヤ友人ヤ知人等ヨリ耳新シク聞クノハ之レ當サニ新聞デアル、故ニ人ハ殆ンド皆新聞者デアル、併シ新シイ事ヲ聞ク中ニハ**虚説**モアレバ眞實ナ事モアルノダ。

又新シイ事ヲ數多ク**敏速ニ世人ニ報告**スル専門ノ機關ヲ普通ニ新聞社ト謂ヒ、新聞社デ發行スル紙ヲ新聞紙ト謂フノデアル、而シテ此新聞紙ヲ敏速ニ發行スルニハ實ニ局外者ノ想像シ得ザル繁務多忙ナモノデアル、故ニ數多キ記事ノ中

ニハ誤レル記事ヲ掲載シタリ、虚偽ノ記事ヲ掲ゲタリスルコトモアルノダ、併シ**此**

多忙ハ世人ノ爲メデアルカラ、其多忙ニ由ツテ生ジタル虚説誤記事

ヲ見テ法律ニ訴ヘタリ取消シテ申込ダリスルノハ餘リニ**尻ノ穴ノ狭イ話**デアル、見ヨ新聞社ホドノ多忙デナキ又ハ新聞社ヨリモ近親ナル家人ヤ友人等ヨリ傳ヘル新聞デスラ虚説ガアルノダカラ、名狀スベカラザル多忙ナ新聞社ニ於ケル新聞紙ニハ虚説モアルコトハ知レ切ツタコトデハナイカ、斯クモ世人ニ數多キ事ヲ報告セントシテ多忙ヲ生ズルノデアルカラ、其「世人ノ爲メノ多忙」ト云フ事ヲ考ヘタナラバ、新聞社ヲ相手取ツテ訟訴ナドヲ起サズトモ可イ事デアル、度量寛大ナル人ハ宜シク新聞社ノ多忙ト云フ情狀ヲ酌「了」スル位イナ心掛ケガアツテ新聞紙ノ惡評記事ぐらゐハ黙許シテ措

クベシダ。

然ルニ『新聞紙ノ紙面中ニ五寸巾デモ一尺巾デモ白紙面ヲ生ジテ置クノハ販賣上非常ニ都合ガ悪イカラ白紙埋メトシテ虚偽ノ記事マデ植字スルノダ、』ト悪評スル人モ多イ様ダケレドモ、新聞社ノ方デハ決シテ故意ニ斯ル虚偽ノ記事ヲ掲載スルノデナク、新聞社ニ種子ヲ送ル通信社トカ投書者ノ中ニ無責任杜撰ナ者ガアルノデアアル、併シ稀ニハ唯奇ヲ賣リテ儲ケントノ醜劣ナル量見ヲ以テ、國家、社會、人權ヲ辨フルニ違アラズ場末(現代外國ト稱スル地方)ノ曲説思想ヲ譯載シタリ、或ハ武士道國ノ小學教員等ガ純軍隊式ノ體操運動デモ爲セバ其ヲ攻撃シテ見タリ、甚シキハ僅々一個人ヲ相手トシテ記事デ喧嘩スル新聞社モ従前ハ無イデモナカツタ。

又『昔ノ大隈秀吉ノ事ヤ徳川時代記ヤ赤穂義士ノ事ヤ大久保彦左衛門ノ事ヤ其他既

往ノ古イ事ヲ記載スルノハ舊聞デアツテ、新聞ノ意義ニ適ハナイコトダ、』ト評言スル

人モアルガ、其ハ評者ノ量見ガ大イニ間違ツテ居ルノデ、既往ノ舊イ事デモ現代

人ノ耳眼ニハ新シク聞コエルノデアアルカラ是レガ最モ意

義アル新聞デアアル、故ニ眞ニ世間ノ讀者ニ親切ナル新聞社ハ楠公ヤ、和氣清麿公ヤ、

大西郷南洲翁ヤ、江藤新平生先ヤ、西野文太郎先生ヤ、吉田松陰先生ヤ、山鹿素行先

生ヤ、菅原道眞公ヤ、神功皇后等ノ如キ人皇以來ノ事ノミニ限ラズ、神代ニ埋没セル

化石ノ事ヤ、世界ノ主神タル天照皇大神ノ御事マデ新聞紙ニ詳記シテ、現代人ノ耳眼

ニ新シク閱讀セシメル天職ヲ全ウシツ、世界王政復古ノ平和ニ資セントスル至誠ノ

新聞社モアルノダ。

因ニ世界ノ主神ノ御事ハ「世界ノ王政復古」ト云フ書籍ヲ熟讀シタ人ハ既ニ識ル所デアラウ。

第二十五 理想

(空想 妄想 トハ異ル
高キ理想 ト卑キ理想)

近頃ノ新シ臭イ男女連ノ口カラ「理想」ト云フ言ヲ出ス者ガ稀ニハ在ル様ダガ、抑モ斯ル言ヲ吐ク者ガ、其理想ナル文語ノ意義ヲ能ク辨^{わか}ヘテ言フノナラバ、御本人ノ爲メニモ敢テ不幸ハアルマイガ、之ヲ未ダ碌ニ識ラズシテ唯徒ラニ理想ト云フテハ、學識アル人々ノ腹ノ底デ蔑笑^{あざわら}サレル者ガ多イ様ダカラ、左ニ簡單ニデモ

説明シテ置カウ。

理想ト云フ事ヲ識ラントセバ、先ヅ他ニ「空想」「妄想」ト云フモノモ人界ニアルコトヲ識ラネバナラス。

扱テ「理想」トハ、**理的見解ノ上ニ立テル目的ヲ想像スルコト**トデアアル、即チ道理ニ合ツタ目的ヲ想像スルコトデアアル、**合理ノ目的ヲ想フ**ノガ則チ理想デアツテ、道理ニ合ハザル目的ヲ想フノハ理想デアアル、不理想ハ將來實現シ得ザル空想ニ終ルコトガ多イケレドモ、理想ハ將來實現シ得ルコトガ多イノデアアル、尙ホ解^{わか}リ易^{やす}ク言ヘバ、或目的ニ就イテ萬端^{ばんたん}明瞭ナ觀念ヲ造ツタ時之レヲ稱シテ「理想」ト云フベキモノデアアル、若シ或目的ノ萬端ニ明瞭ナル合

理ノ觀念ヲ缺グ所アリテ理想ト叫ブ者アラバ、其ハ不合理ノ空想又ハ妄想ヲ變言シテ「理想」ト言ツテ居ルノデアツテ、此所ガ識者ノ御尻ヤ御臍デ蔑笑サレル所デアアル、今理想ナル文語ニ關シテ一ニ例ヲ示サンニ左ノ如キモノガアル。

先ヅ職務選擇ノ心理狀態ニ就テ説カンニ、例ヘバ人ハ自己ノ身ニ相當シタ方面ノ職業ニ就職シテ熱心努力スレバ國家社會ヲ益スルノデアアルガ、若シ至誠モ無キ或男女等ガ奮闘ノ勇ナク汗ノ吝齊家タリテ、己ノ身ニ有スル所ノ諸格等ヲモ羅ツテ願ル事ヲ爲サズシテ、妄リニ大ナル希望ヲ有スルノハ、**空想又ハ妄想ト謂フベキモノデ**、斯ル妄想家、空想家等ハ決シテ理想ノ人間デハナイノデアアル又結婚問題ニ關シテ説カンニ、近來或男女等ガ眞ニ理想ト云フコトヲ識リモセズシ

テ友人ヤ媒酌人ノ眼ノ前デ、「高イ理想」トカ「卑イ理想」トカ言フ者モアルソウダガ、果シテ高キ理想ヲ結婚上ニ實現セントスルナラバ須ラク左ノ如クナケレバナラズノデアアル。

抑モ「高キ理想」トハ「**眼前ノ遊惰**」トカ「**眼前ノ奢侈**」トカ

「**醜慾**」トカ云フ事トハ異ルノデ、理的見解ノ上ニ立テル最善最高ノ目的ヲ想フ

ノガ即チ「高キ理想」デアアル、而シテ結婚ナルモノハ、天命ニ由リテ成立スベキモノデ、高キ所ニ在ル無言ノ天ガ地上ノ男女ニ結婚ノ大典ヲ命ジテアルノデアアルカラ、苟クモ**天ニ近キ高キ理想**ヲ有シテ居ル人ハ、女デモ、眼前ノ逸樂遊惰奢侈等ノ出來ルガ如キ淺キ事等ヲ想ハズシテ、其嫁シタル家ノ境遇ノ如何ニ拘

ハラズ、最善最大ノ努力ヲ續ケテ、恰モ平地カラ高イ山上ニ登ルガ如ク幾多ノ艱難ニモ打チ勝チ、配偶者ト俱ニ高キ天ノ理ニ背カザル境遇ニ到達スルト云フ合理ノ觀念ヲ以テ結婚スルノガ、是レ「高キ理想ノ結婚」ト謂フベキモノデアアル。

若シ夫レ、唯**醜慾心ノ奴隸**トナリテ、自己以外ノ人ノ造ツタ財産ナ

ドニ眼ヲ着ケテ、眼前ノ逸樂、眼前ノ奢侈、眼前ノ遊惰ニ耽ルニ便ナル眼前ノ財産トカ眼前ノ地位トカ眼前ノ名聲トカノミヲ目的トシテ、將來其レ以上ノ高キニ到達スルニ必要ナル艱難其他途中ノ諸事ヲ明瞭ニ理解觀念セズシテ嫁スルガ如キハ、是レ實ニ淺薄下劣ナル思想ノ徒ノ致ス所デアツテ、斯ル心理状態ハ醜慾心ノ生メル「**醜劣ナル理想**」ト謂フベキモノデアツテ決シテ「**高キ理想**」デア

ハナイノデアアル。

又男子デモ其通りデ、或**民營ノ國務ヲ發展**サセル爲メデモナキ

眼前ノ奢侈、逸樂、眼前ノ遊惰等ニ資セン事ヲ目的トシテ、自己ヨリモ多額ノ財産ヲ持參スル婦人ヲ娶ルガ如キハ、是レ「醜劣下賤ナル理想」ヲ結婚上ニ發揮セルモノデアツテ、決シテ「天ニ近キ高キ理想」ノ人デハナイノデアアル。

故ニ男女共、高キ天ノ命ニ背カザル眞ニ高キ理想ノ人タラントセバ、須ラク高キ山頂ニ登ルニ、平地カラ坂ヲ辿リ刻苦艱難ヲ經テ絶頂ニ到達シ得ル途中ノ諸理ヲ想フト同然、**高遠ナル合理ノ觀念ガ明瞭**デナクテハナラス、再言スル淺ク手近カニ遊惰逸樂奢侈等ノ境遇ヲ求ムルガ如キハ、決シテ「高遠ナル理想」デ

ハナク『淺薄下劣ナル理想』ト謂フベキモノデアル、解ツタ人ハ、未ダ識ラザル憫然タル他人ヘモ教ヘルガ善イ。

第二十六 粗製濫造ト多册濫著

(賣名學者の不誠意)

粗製濫造^{そせいしんぞう}ト多册濫著ト噫之レ何タル不愉快ナ文語デアラウ、吾人ハ此文語ヲ見聞スル毎ニ實ニ切齒憤慨ニ堪ヘナイノデアアル。

抑モ粗製濫造^{そせいしんぞう}ナル文語ノ始マリハ、或商工業者ガ、能ク賣レルカラトテ自家ノ名譽モ國家ノ名譽モ將來ノ影響モ想ハズシテ、濫^{みだ}リニ商品ヲ見本ヨリモ粗惡

ニ澤山製造^{そせいしんぞう}シ供給スルニ因リ此文語ハ生レタモノデアル、若シ武士道ヲ重

ンズル商工業者ガ、他ヨリ百萬個ノ注文ヲ受ケテモ、念ノ入ツタ品物ヲ其數ダケ造ルノ時日ト手間ガ無イ様ナラバ、最初カラ其注文高ノ十分ノ一デモ廿分ノ一ノ五萬個デモ、精製品ノ出來ル程度ノ數ヲ引受ケテ、精製シタ品物ダケヲ供給スレバ決シテ粗製濫造テフ忌^いハシイ文語ハ生ゼスノデアアル、然ルニ如何セン^い今日日本ノ商工業者中ニハ、未ダ日本固有ノ武士道ナル責任道徳ヲ重ンズル者尠ク、又將來吾ガ子孫ノ國家ニ如何ナル影響ヲ及ボスカヲモ想到セズ、只眼前ノ利慾ノミニ馳^はリテ、顧客ノ氣附カヌ間ダケ大多數ノ物品ヲ賣レバ可イ、ト云フ様ナ淺^あ薄^はナ量見カラ粗製濫造ヲ爲スニ至ルノデアアル。

多册濫著

モ其通りデ、眞ニ至誠ノ人デ將來國家社會ニ及ボス影響ト云フモノヲ想ツタナラバ、賣名手段モ利慾手段モ行フノ意無ク、隨ツテ一生涯間ニ決シテ多種ノ書冊ヲ濫著スベキモノデハナイ、又發行者モ眞ニ世ヲ慨シ國ヲ憂ヒ讀者ノ利益ヲ圖ルノ赤誠アラバ多種多冊ノ濫發ガ出來ルモノデハナイ。一坪ノ地ニ一本ノ果樹ヲ植ユレバ良果ヲ結ブ所ニ五本モ十本モ植エテハ、見苦シイ物バカリ多ク實リテ碌ナ果實ハ出來ナイト同様に人ノ頭腦ニモ限リガアルノダカラ、一人デ多冊ヲ著作シテハ到底碌ナモノハ出來ナイノデアル。故ニ彼ノ菅原道眞公ノ如キ伊藤仁齋先生ノ如キ頼山陽先生ノ如キ山鹿素行先生ノ如キ紫式部ノ如キ瀧澤馬琴ノ如キ其他、眞ニ誠意ヲ籠メテ著作スル人士ハ決シテ

多種多冊ヲ著作シテハ居ナイノデハナイカ、又斯ル人等ハ**至誠ノ發露ガ自然書冊トナレル**ノデアルカラ、名ヲ賣ラウトカ、著作スル事ヲ自己ノ生活用ニスルトカノ如キ考ヘナドハ微塵モ無カツタノデアル。

現代デモ眞ニ至誠ノ人ハ、如何ニ學識ガ有ツテモ賣名心ハ無ク、**著作ヲ生活用ニスル陋劣心ナドハ無イ**カラ、一代ニ十種モ廿部モ多冊濫著ハ爲サヌ、又發行者デモ眞ニ世人ノ爲メヲ想ヒ國家ヲ想フ發行者ハ決シテ世人ヲ選書ニ迷ハシムル程ノ多種發行ノ濫發ハ斷ジテ爲サヌノデアル。

然ルニ近來多クノ所謂學者ヤ發行者共ノ醜陋サ加減ハ如何、恰モ近眼商人ノ粗製濫造ト異ル所ガ無イデハナイカ。彼等横着ナル著者等ハ、世人ガ唯名ヲ賣レタル人ノ著

書ヲ善イモノカト**早合點**シテ、内容記事ノ良否ヲ鑑識スルノ腦力薄キ輕卒狀態ヲ看破シテ居ルカラ、勢ニ乘ジテ**益々世間ヲ愚視**シテ幾ラデモ名ヲ賣ランガ爲メニ、幾ラデモ多冊濫著ノ弊風ヲ演ズルノデアル、又發行者共モ有名ナ著者ニ劣ラス狡猾心ヲ逞シクシテ、賣名ナラザル至誠家ノ良著作物ヨリモ、**賣名者ヤ著作生活者等**ノ元稿ヲ買ヒ受ケテ發行シ、又甚シキハ世ノ愚讀者連ガ表紙ヤ口繪ノ奢侈美ナルヲ好ムカラ、ト云フ世人ノ弱點ニ突ケ込ンデ、徒ラニ内容ヨリモ表紙ヤ口繪ニ多クノ費用ヲ掛ケテ、毫モ世間ノ爲メヲ想ハヌ不埒至極ノ發行者モアル、又新シキ發行品ヲ好ムガ如キ世ノ愚讀者連ノ弱點アルニ乘ジテ、二三年掛ラネバ出來ヌ種類ノモノヲ、至誠モ無キ**利慾一偏ノ或有名ナ**

徒輩等ガ、輕卒ニモ半年カ二三ヶ月デ編著發行シタリ、或ハ半生以上ノ歲月ヲ以テ心血ヲ注ガネバナラス種類ノモノヲ錄ニ研究モ遂ゲズシテ、不誠意ニモ數年トカ數ヶ月ノ短時日間ニ輕早ニ編著シ、甚シキハ數日間ニ重大ナル思想上ノ事柄ヲ雜誌等ニ輕早記載スル所謂學者モアル。

回顧スレバ 明治天皇御崩御後ノ如キ、畏レ多クモ御聖錄如キ至重至貴ナル種類ノモノヲ、一年ダモ半年ダモ三ヶ月ダモ時日ヲ要セズシテ、不謹慎ニモ**輕早ナル編著發行**ヲ爲セル不埒漢モアツタソウダ、町人之日本社トカ、小供だまシノ某中學會トカ云フ**門構ヘノ書店**ナドモ、洋紙ヲ早ク活字ニ染メテ賣ランガ爲メニ、斯ル輕早ナル編著發行ヲ演ジタト云フ話モアルガ、若シ實際斯ル徒輩ガ

在リトスレバ、吾人ハ世間讀書子ノ爲メ乃至國家社會ノ爲メ、其醜陋ナル心事ヲ甚ダ痛嘆セザルヲ得ナイ次第デアル。之レニ反シテ國祖報德會發行ノ『大寶冊』ト云フ書冊ハ慎重ナル態度ヲ以テ、二ケ年ニ亘ツテ至誠ヲ捧ゲテ五百首以上ノ御製ヲ謹註奉記シタモノデ、既發ノ同類ノ書冊中デハ眞ニ日本一トノ好評ヲ受ケツツアル謹著デアルケレドモ、**此レデスラ**未ダ菅原道眞公ヤ頼山陽先生等ホドノ慎重トハ謂ヘヌ、ト言フ人モ六千萬人中一人ハ在ル位イダカラ、他ノ賣名手段者ヤ生活用著作業者等ノ多冊濫著物ニハ碌ナモノハ無イコトガ判識サレルデハナイカ、現ニ賣名シ得ル程ノ大廣告デ世ノ愚讀者連間ニ能ク賣レル有名ナル著作者ヤ、有名ナル發行所ノ品物ヨリモ、却ツテ賣名用ノ大廣告ナドヲ爲サザル潛名者ノ著作物中ニ、立派ナ内容ノ書籍ガ在ル

ノヲ見テモ、非賣名ナル**潛名者ノ著作物が善イ事ガ判ルデハナイカ。**

講義録デモ其通り、多冊濫著ヲ爲セル多忙ナル所謂學者ノ著作シタル講義録ニハ、念ノ入ツタ善イモノハ見當ラヌ、其レハ其筈、素ヨリ名ヲ賣ルホドニ多忙ナ濫著者ハ専心一書ニ全力ヲ注グ時間ト誠意トガ無イノデアルカラ、どうシテモ立派ナ内容ノ著作ガ出來ル筈ハ無イノデアル。

ソコデ、賣名ヲ好マザル眞ノ學者ノ書イタ講義録ハ、別ニ尨大ナル廣告ヲ爲サズトモ、見本ヲ送ラズトモ能ク賣レルガ、賣名者等ノ書イタ講義録ハ眞面目ナ小廣告デハ賣レヌカラ、白粉ヤ賣藥ヤ山師學會等ノ如ク、田舎者ノ眼ヲ惑ハスニ使ナル尨大ナル

廣告ヤ誇大ナル建築等ヲ以テ街ハネバ賣レヌノデアル、**其レデモ賣レ**
又講義録屋ハ 恰モ商店ガ景品ヲ添ヘルガ如ク、大特典トカ云フ小供だ
 まシノ様ナ事ヲ行ルカラ、講義録ノ内容ヲ鑑識スルノ眼無キ世ノ青小年等ハすつ
かり狐ニ魅ラレタ様 ニ成ツテ仕舞ツテ、識者ノ忠告モ何モ心ニ辨
 ヘヌ様ナ憫レナ青小年モ頗ル多イノデアル。

又甚ダシイ奸智ノ講義録屋ハ、田舎ノ郡視學ヤ小學校長ナドニ飲食物ヤ其他ノ賄賂
 ヲ與ヘテ、其講義録ヲ褒メテ貰フ様ニ頼ムコトモアルソウダガ、併シ**人格高**
キ視學官ヤ校長 ナドハ、其惡策講義録屋ナドノ奴隸トナツテ青小年ヲ欺
 ク事ヲ好マスカラ、却ツテ他ノ尊皇的思想上ノ圖書ヤ農工業ニ關シタ圖書ヲ多クノ小

國民ニ勸メルソウダ。

又見本マデ前送セネバ入會者ノ無イ講義録

屋ハ、五百人ノ申込者ガアツタ頃ハ五萬ト言ツタリ、三百人ノ時ハ既ニ入會者三萬
 ナドト殆ンド百倍ノ放羅廣告ヲ出シタ上ニ、見本ト云フ紙片レマデ前送スルソウダガ、
 其見本ト云フノガ完全ナ見本デハナクシテ、**唯内容ノ内デ稍々善**
ク出來テ居ル一部分ノ個所ダケ前送 スルダケデ、
 後ノ大部分ハ無責任者連ノ濫作デアルソウダ、斯ル奸智者ノ下ニ迷惑ヲ被ムル者ハ、
 實ニ憫ムベキ世ノ迂愚ナル青少年デアルノダ、

詮ジ來レバ、斯クモ現代ニ世人ヲ馬鹿ニセル多冊濫著者ノ現ハレルノハ、獨リ彼等

賣名學者ヲ濫發書店等ノミノ罪惡デハナクシテ、世間ノ購讀者ニモ罪ハアルノダカラ、世人モ國家社會ノ爲メニ、粗製濫造者ヲ憎ムノ善勇アラバ**世人ヲ馬鹿ニセル世ノ多冊濫著ノ賣名者**ノ心事ヲモ憎ンデ、大ヒニ多冊濫著ノ聲ヲ盛ニスルト同時ニ、自今一切、名ノ賣レタ奴等ノ著書ハ買ハヌ、ト云フ**牢乎タル決心**ヲ以テ、賣名ナラザル眞ノ學者ノ著ハセル念ノ入ツタ書籍ヲ購讀シタナラバ、**斯ク一人一人ツ、ノ至誠ノ勇氣ハ、自然多數世人ノ頭腦ニ感傳シ**、遂ニ多冊濫著ノ弊ヲ滅滅セシムルニ至リ、古ノ如キ立派ナ著作者ト立派ナ内容ノ書籍ガ世ニ出現スルノモ、敢テ遠キニ非ザルベシト信ズル、蓋シ眞實趣味ノ籠レル書ヲ著ハス誠意ノ大學者ハ、前

ニモ言ツタ通り一生一代ニ多種多冊ハ濫著セヌカラ、又賣名手段ヲ好マヌカラ、未ダ世ニ名ヲ賣リテ居ラス人ノ中ニ大學者ハ潜在セルモノト觀察スルノガ至當デアル。而シテ**大學者ノ名ハ死後ニ有名**トナルモノガ多イノデアアル。因ニ自白ス、斯ク言フ本書ノ著者モ、今マデニ随分多冊濫著ヲ爲シテ、識者ノ忠告ヲ受ケタコトモアルカラ、今後ハ決シテ賣名手段ナル多冊濫著ハ致サヌ考ヘデアリマス。

第二十七 熟慮斷行 (短氣と曲稱するは不可)

世ニハ**熟慮ヲ優柔**ト誤解シ、又**斷行ヲ短氣**ト誤解スル人が頗ル多

イ様デアルガ、此ハ未ダ神道正義ヲ能ク辨^わヘヌ人々ガ誤解誤稱スル事デアアル。抑モ「熟慮」トハ能ク^く考ヘルコトデアツテ、「斷行」トハ思ヒ切ツタ素^す早^{はや}イ行ヒデアアル。然ラバ人ハ熟慮スルニモ何カ標準ト云フモノガ無ケレバナラヌガ、私己主義ヲ標準トシテ善イカ**何ヲ標準**トシテ善イカ、此レガ多クノ人々ノ誤ル所デアアル、故ニ吾人ハ今左ニ簡單ニ記述シ置カン。

凡ソ人ハ最初ニ木石ヤ禽獸ガ造リタモノデハナクシテ、天即チ神ノ創造シ給ヘル人デアルト云フ事ハ、東郷大將ヤ乃木大將デナクトモ誰レデモ直覺ニ依ツテ識リ得ルデアラウ、殊ニ宇宙ノ眞理ニ違ハヌ「世界ノ王政復古」ナル多趣味ノ快著ヲ讀ンダ人々ハ一層向上直覺シ得テ、神道ハ萬事正義ノ發源デアアルコトヲ識了シ居ルデアラウ、故

ニ世界裁決ノ事カラ國家ノ事ヤ一家ノ事ヤ知人間ノ事等ニ至ルマデ悉ク、人ハ常ニ**神道正義ヲ標準**トシテ熟慮シ置カネバナラヌト云フ事ガ判ルデアラウ、

斯ク平素ニ萬事ノ根義ヲ深ク熟慮シテ居ル人ハ、若シ何事デモ起ツタ時ニハ瞬^{また}ク時間モ無イ内ニ素^す早^{はや}ク神命ニ從ツテ斷行スル。之レニ反シテ平素ニ神道ヲ重ンズル信念力ノ劣レル者ハ、或事ガ起ツタ時ニ躊躇^{ちゅうちゆう}優柔鈍行^{ゆうじゆうどんかう}ニ流レテ時機ヲ逸スルコトガ多イノデアアル、斯ル優柔鈍行ヲ如何ニ熟慮斷行ト謂ハントシテモ、優柔鈍行ハ決シテ熟慮斷行デハナイノダカラ、苟クモ熟慮斷行ノ人タラントスル者ハ宜シク平素ニ深ク神道正義ヲ重ンジテ居ナケレバナラヌノデアアル。而シテ萬事正義ノ發源タル神道ニ據リ平素熟慮シ置キテ、或事物ニ遭遇セル時ニ現ハレタル斷行ヲ見テ、「短氣」ナド、曲解誤稱シ

テ善イモノデハナイ。

第二十八 干涉

(當然の職務執行は普通のこと也)

「干涉」ト云フコトハ、何事ニ限ラズ「關係スルコト」デアルケレドモ、此文語ハ「我田引水」ナル文語ト同様、字義ガ然ウダカヲトテ、矢鱈ニ使用シテ國家社會ヲ益スベキ文語デハナイ。

例ヘバ胃病人ガ自身ノ害ニナルカ有功ナルカラ辨ヘズシテ、若シ害ニナルモノヲ喰ベタイト欲シガル時ニ、監督者ヤ看病人ガ、其砂糖ハ惡イトカ生梅ハ惡イトカ鱈ハ惡

イトカ言フノハ、如何ニ嚴シク言フテモ愛情又ハ誠忠心カラ言フノデアルカラ、之ヲ干涉ナド、謂フベキモノデハナイ。又一家ノ家族ヤ雇人等ガ氣附カネバナラヌ爲サネバナラヌ事ヲ氣附カズ爲サル時ニ、其家ノ主人ガ嚴重ナル注意ノ言ヲ發スルノハ、實ハ其家ノ主人ガ其家族ヤ雇人等ノ缺點ヲ憫ム愛情ト一家ニ對スル忠義心乃至ハ職業ニ對スル試忠心カラ勃發セル言デアルカラ、之レモ干涉ト謂フテ可イモノデハナイ。又國家ノ機關タル或警察官吏ガ戶籍調べニ來タリ、衛生ノ事ニ就イテ來タリ、圖書發行物ヲ調べタリ、左側通行ヲ嚴訓シタリ。又検事局ガ白粉ヤ賣藥ヤ誅學會等ノ奸策者ヲ檢舉シタリ。或ハ稅務官吏ガ酒ヤ醬油煙草等ノ検査ヲ爲シタリスルガ如キ、其他各職務ニ忠ナランガ爲メニ既定ノ職務ヲ執行スルノハ、是レ當然ノ義務デアツテ農家ガ

田畑ヲ耕スト同様**普通ノ行ヒ**デアルカラ、之モ他眼デ濫リニ「干涉」ナド、不愉快ナ言葉ヲ浴ビセ掛ケルモノデハナイ。又天ノ使命ヲ帶ベル大日本帝國ガ東洋ヤ西洋ヤ北洋ヤ南洋ノ如キ一塊ノ地球上ノ或事ニ對シテ硬軟ノ注言或ハ行動等ヲ現ハスガ如キハ、是レ正ニ徐々ト世界ヲ神代ノ如キ平和ニ恢復歸一セシメントノ**至善ナル慈行**デアルノダカラ、之レモ世界何地ノ人ノ眼デモ「干涉」ナド、曲稱セズトモ可イ事デアアル。

然ラバ如何ナル場合ニ干涉ト云フ文語ハ使用シテ可イカト言ヘバ、或事ニ關係セズトモ差支ヘナキ人又ハ無關係ナルベキ方面カラ關係シテ、言文ヤ武力等ヲ以テスル時ナドニ「干涉」ト謂フテ可イモノデアアル。

第二十九 肩書 (學位や空位とは異なる)

世ニハ「肩書」ト云フコトヲ識ラズシテ、妄リニ肩書々々ト云ツテ居ル盲昧者モアル様デアアル、甚ダシキハ獸皮ヲ靴ト謂ヒ、毛ヲ見テ筆ナリト謂フガ如ク、位階ヤ學位ヤ卒校稱號ナドヲ捉ヘテ直チニ肩書ナド、誤稱シ、或ハ其ヲ不埒ニモ名刺ノ肩書ニマデ附シテ恬然省ミザル弊習ヲ實行シテ居ル圖々シキ徒輩モアル様ダガ、斯ンナ事ハ能ク辨ヘテ居ラネバ眞ノ學識アル人ノ御臍デ笑ハレルコトガ到來スルノデアアル。

抑モ「肩書」トハ人間ノ實際社會ニ於テ用フベキ文語デアル以上、實際社會ヲ除イテハ沒交渉ノモノデアアル、「肩書」ハ實ニ社會ト至極密接ノ關係ヲ有スルモノデアアル。

世ニハ「肩書」トハ唯ノ卒業稱號タル學士ヤ、唯ノ學位タル博士ヤ、**科料**ニ處セラタル前科者ノコトデアアル、ト云フ人モアルガ、斯ルモノヲ肩書ト謂フ可キモノデハナク、卒業稱號ハ稱號、學位ハ學位デアツテ前科者ハ前科者デアアル、則チ獸皮ハ獸皮デアツテ靴くつデハナク、毛ハ毛デアツテ筆ふでデハナイノデアアル。

然ラバ「肩書」トハ如何ナルモノカ、如何ナルモノヲ肩書ト謂ヘバ世ヲ誤ラシムズシテ世ヲ益スルカルカ、今左ニ著者ノ解決セル所ヲ示サンニ、

「肩書」トハ何デモ彼デモ名刺ノ肩ニ記シ得サヘスレバ肩書ト謂フテ可ナルモノデハナク、社會ニ對シテ**實際的責任ヲ有スル意義**ノモノデナクテハナラヌ、世ニハ國家モ社會モ憂ヘザル無責任ナル奴等ガ卒業稱號ヤ**學位**ヤ前

科者ノコトヲ「肩書」ナド、まうせんしんぎ妄稱濫記スル者モアルカモ知レヌガ、併シ其ハ**其者等**ガ既ニ一步誤謬ニ因ハレ居ルヲ自覺セザルニ依リ**濫稱スル肩書**デアツテ、真ノ肩書デハナイノデアアル、強ヒテ其ヲ曲ゲテ肩書ト謂ハントスレバ其ハ**變則ノ肩書**ト謂フノ外ナイノデアアル。

真ノ肩書ナルモノハ、前ニモ言ヘルガ如ク、**社會ニ對シ實際的責任ヲ有スル意義**ノモノタラザルベカラザルガ故ニ、肩書ノ事ヲ職名トモ謂ヒ得ルノデアアル、故ニ職業ヲ有シテ居ル人ノ全部ハ皆真ノ肩書ヲ有シテ居ルノデアアル、即チ「總理大臣」トカ「宮内大臣」トカ「何々大臣」トカ「警保局長」トカ「警視總監」トカ「某府縣知事」トカ「何々裁判所長」トカ「何々養成所長」「何々養成教

頭」トカ「何々警察署長」トカ「何々郡長」トカ「何々郡書記」トカ「某家車夫」トカ「何々村長」トカ「何村役場書記」トカ「何々學校教授」トカ「校長」トカ「教員」トカ「何々縣警部」トカ「何々縣巡查」トカ「何々漁夫」トカ「漁士」トカ「農士」トカ「何々村產業員」トカ「何々質屋銀行員」トカ「何々會社員」トカ「何々商店主」トカ「何々商店員」トカ「何々軒車夫」トカ「車士」トカ「何々工場女工」トカ「何々工場職工」トカ云フガ如ク、大臣ヤ質屋銀行會社員如キモノマデモ眞ノ肩書ヲ有セヌモノハ殆ンド無イ位デアル、併^レモ未ダ一人前ノ人間タルヤ疑ハシキ學生ヤ、學士トカ博士トカノ學位アル者ヤ、又ハ**科**料ニ處セラレタル前科者ノ中ニハ、或虛榮心ノ爲メニ、眞面目ナ職ニ早く就クコトヲ爲サズシテ、眞ノ肩書ノ無イ者ガアルカラ、世人ハ注意

スルガ善カラウ。

要スルニ卒業稱號ヤ、學位ノミヲ有シテ肩書無キ者ヲ目シテハ稱號ダケノ人、又ハ「學位ノミノ人」ト正稱シ、又學位アル人デモ前科者デモ眞面目ナ職業ニ従事セル人ヲ目シテハ、最早肩書ヲ有スル人デアルカラ當然「肩書アル立派ナ人間」ト正稱シタ方が國家社會ヲ益スルデハナイカ。

第三十 元氣活潑ト亂暴 (程度を進歩せしめよ)

元氣活潑モ亂暴モ程度問題デアル、然ルニ今ノ世ノ中デハ此程度ヲ辨^わヘズシテ――元氣活潑ナル言行ヲ亂暴ト誤稱スル者ガアル、近時軟墮ノ弊風ニ抗スル勇者ノ減ズル

ニ隨ヒ、識ラズ知ラズノ裡ニ軟化者ノ味方ハ多クナリ、今ヤ維新前後ノ如キ元氣活潑ナル言動ヲ現ハス者アラバ、之ヲ目シテ亂暴ト誤稱スル者ガ多イ様ナ傾キガアル、今ノ青年中ニハ眼鏡ヲ掛ケタリ杖ニ縋ガツタリスルノハ見受ケルケレドモ、**衣ハ**

肝ニ至リ袖腕ニ至ル

ト云フ様ナ勇マシイ俤ハ今ノ世ニ見ントシテモ多ク見ルコトガ出來ナイデハナイカ、僅々四五十年ノ間ニ斯クモ思想界ガ軟化シテ、元氣活潑ト謂フ可キ場合ニ亂暴ナド、誤稱スル程度ニ退歩シタカト思ヘバ吾人實ニ痛嘆シテ已マナイノデアアル、苟クモ世界ノ本源地ニ生ヲ享ケテ、**破邪顯正**

ノ**大道徳ヲ實行**シテ進マネバナラヌ皇國ノ官民ガ、若シ夫レ軍隊ヤ學校ノ教師ガ元氣活潑ナ嚴格ナル面カモ**熱誠ガ四肢ニ迸バシレ**

ル教練

ヤ、警察官吏ノ職務ニ熱誠ノ餘リニ元氣ガ四肢ニ迸バシレル態度等ヲ亂暴トカ綱罰トカ拷問トカ誤稱シタリ、或ハ日常ノ民間ニ於テ或醜行者ヲ改心セシメン

トノ目的ニテ、元氣ヲ口ニ發揮シ一喝シテ教ヲ垂ルレバ、其態度ヲ目シテ亂暴トカ教喝ナド、曲解誤稱スル程ニ退歩シテハ世ハ暗カラ暗デアアル――如何デ心身強健ノ國民ヲ造リ得ベキゾ――ト痛嘆スル志士ガ在ルノモ敢テ偶然デハナカラウト思フ、又近時内務省ガ地方青年團ニ向ツテ剛健ナル氣風ヲ養成スル様ニ訓令シタノモ、時世ヲ救フニ適シタ事ト信ゼザルヲ得ナイ。

抑モ世ガ進歩シテ可イモノナラバ、元氣活潑モ其度ガ進歩シタ方ガ善イノデアアル、即チ昨今、活潑元氣ト謂ヘル程度ノ言行ハ將來之レヲ軟弱視スル位イニ度ヲ進歩セシ

メ、又現時亂暴ト稱スル程度ノ言行ハ將來ニ於テハ之ヲ元氣視シ活潑視スル位イニ、程度ヲ進歩セシムルノ抱負ガ我官民間ニ無ケレバ世ハ益々退歩シ、國民ノ思想ト體質ハ愈々軟化シテ已マナイノデアル、近眼者ハ兎モ角、達觀者連ノ眼デハ斯ク將來ヲ看破シ得ルデアラウ、現ニ體罰トカ拷問トカ恐喝トカノ熟語ヤ法律ハ何國ノ眞似ヲ致シタモノカハ知ラネドモ、斯ル熟語ヤ法律ノ應用ガ盛ンニナツテカラ、本場國民ノ心身ノ質モ漸次ニ場末ノ英佛米風ニ軟弱トナリテ、今日農家ノ青年ノ持ツ鋤ハ、三十年以前ノ青年ノ握レル鋤ヨリモ六十匁目モ輕イト云フコトデアル、耕スニ土ハ深クモ堀レズ隨ツテ作物ノ減收ハ生ズトモ増收ハ得ヌ道理ノ下ニ近來ハ高價ナ肥料バカリ多ク使ハネバナラヌ次第デアル——嘆ハ

シイ事デハナイカ。

吾人ハ斷言ス、文弱軟墮ノ弊風ニ伴フ文語ノ誤稱ハ國ヲ誤ルノ一大原因ナルヲ、依テ如何ニ明治維新後ノ文弱軟墮ナル世ニ教育ヲ受ケタル官民界ノ人々モ、少シデモ國ヲ想ヒ世ヲ憂フルノ誠心アラバ、元氣活潑ナル言行ヲ亂暴ナド、曲解誤稱セヌガ善イノデアル、勿論如何ニ有効ナ事デモ多少ノ弊害ハ

伴フモノデアルガ、其少シバカリノ弊害ヲ楯ニシテ、今日世界ヲ相手トスル國民ノ體質ト氣象トヲ軟弱ナラシメテ可イモノ乎、區々タル個人間ノ毆打教喝トカ謂フ弊害ト、國民全體ノ體質氣象等ヲ剛健ナラシメテ世界ノ平和ヲ果ス大功トハ何レガ大事カ、舶來妄想狂ノ所謂學者連モ少シハ世界的ニ默考シテ見ルガ善イ。敢

テ維新前後ノ時代ヨリモ諸科學ノ進歩シタ今日、元氣活潑ノ度モ一層進歩セシメ、以テ國民ノ心身ヲ益々強健至極ノ域ニ達セシメテ不可ハアルマイト思フ、斯クスルニハ内務省ノ訓令ヤ、古武士風ノ剛健ナル少數者ノ氣風ヤ、此著者ノ聲バカリデナク、先ヅ法律カラ改正セネバナラヌノデアアル、政治家トカ代議士トカ當局者トカ志士トカノ如キ人々モ此邊ノ注意ヲ怠ツテハ到底、天ノ使命ヲ帯ベル日本臣民ガ破邪顯正ノ世界的大道徳ヲ果スコトモ覺束ナイデハナイカ。

因ニ如何ニ世界ノ軟文國ニ變手古ナ法律ガ有ルカラトテ、其レヲ武士道ノ本場タル日本ニマデ輸入シテ眞似セズトモ可サソウナモノダ、士氣強國ノ元氣義憤心等ノ衰退センコトハ某外國ノ奸智政

略家ノ望ム所デアアルソウダガ、マツカ日本ノ立法部員タル代議士さん達ハ、士氣元氣ヲ嫉妬スル某外國カラ賄賂ヲ頂戴シタノデモアルマイ。

第三十一 人格

(神格、品格、資格、財格、辯格、名聲格、體格、價格、等は別)

人格ナルモノヲ説クニハ少シク長文ニナリマスガ、「人格」トハ如何ナルモノデアアルト云フコトヲ熟知セズシテ其文語ノ見解ヲ誤リ、使途ヲ謬ル男女ガ頗ル多イ様デアアルガ、抑モ「人格」ナルモノヲ正確ニ識ラント欲セバ、凡ソ「格」ニ數種類アルコトヲ記憶セネバナラス、即チ列舉スレバ限リノ無イコトデアアルガ、略記スレバ神格、人格、

品格、資格、財格、辯格、名聲格、體格、價格、等其他種類ガアルノデ、『神格』トハ、世界ノ主神ヲ最高最大ノ目途トシタル格デアツテ、其崇高偉大ニシテ尊キコト到底人格ナドノ及ブ所デハナイ。

此「神格」ナルモノハ「世界ノ王政復古」ナル廉價ナ書冊ヲ讀ンダ人ハ解ツテ居ルダラウカラ、茲ニ詳シク説クコトヲ止メテ、左ニ人格ナルモノ、意義ヲ説明スルコトニ致シマセウ。

抑モ「人格」

トハ字義ノ如ク人タルノ格デアツテ、之ヲ法律的解释ト、道德的解释トニ大別シテ解释スルコトガ出來ルノデアアル、乃チ法律的解释ヲ以テスレバ、「人格」トハ「人ガ母體ヨリ分離シテ生命ヲ持續スルニ因リテ始マリ、死ニ依リテ終ル」

ト云フコトニナルガ、著者ガ本書ニ於テ「人格」ナル語ヲ用フルノハ、法律的解释ノ人格ニハ非ズシテ、一般的概念ノ人格——即チ道德的解释ノ人格ヲ云々スルノデアアル。

今茲ニ道德的解释(一般的概念)ノ「人格」

トハ、智、情、意、ノ圓滿ナル發達ヲ目途トシタル比較ガ人格デアアル、而シテ人格ニハ「至誠」ガ伴フコトヲ拒ムコトハ出來ヌモノデアアル、故ニ眼ニ見エタ體格ヤ品格ヤ、或ハ耳ニ聞ヘル名聲格ヤ、財格ヤ、口デ能ク喋舌ル辯格等ニ富ンデ居テモ、人格ハ劣等ノ人モアリ、又他ノ諸格ハ勝レテ居ナクトモ人格ハ立派ナ人モアルノデアアル、其ウデアアルカラ品格ヤ財格ヤ名聲ヤ辯舌ナドヲ目途トシテ、人ノ人格ヲ云々スル

モノデハナイ。

「人格ノ高い人」

トハ決シテ眼ニ見エタ諸格ヤ名聲格等ヲ標準トシテ

謂フ可キモノデハナク、智、情、意ノ高善ナル方面ニ發達シ

テ至誠ニ富メル人

ヲ人格ノ高い人ト謂ヒ、至誠ガ貧乏デ思想ノ下卑

ナル人ヲ人格ノ卑イ人ト謂フ可キモノデ、尙ホ適切ニ言ヘバ、神ニ近イ至

誠ノ人

ニシテ自己ノ生存發達ヲ營ミ得ル能力ヲ有シ社會ニ對シテハ道德ヲ責任

以上ニ果シ得ル人ヲ「人格ノ高い人」トハ稱ス可キモノデアル、而シテ人ガ神ニ近ヅ

クマデニハ、大ナル克己的勇氣ヲ要スルノデアル。

序デニ他ノ數種ノ「格」ナルモノヲ簡單ニ説明センニ——「價格」トハ或物品ト金錢

トノ交換ノ比較ヲ價格ト謂フベキモノデアル、而シテ或物品ノ價格ヲ評定スルコトハ
他人ノ人格ヲ評定スルヨリモ難カシイコトガアル、例ヘバ僅々一頁ノ書畫デモ數百萬
圓ノ價格ノ掛物ヤ卷物ヤ額面等ガアリ、又僅々百頁ノ著書デモ千頁ノ書冊ヨリモ人心
ヲ感動セシメ、百五十頁ノ書冊ガ一萬五千頁ノ書冊ヨリモ價值アルコトガアル、圖書
ノ眞價格ハ決シテ紙數ノ多少ニ依リテ決スベキモノデハナクシテ、實ニ其著ノ眞髓ニ
依ツテ決定スベキモノデアアルガ、盲者千人、識者三人トモ謂フベキ世ノ中ニハ、圖書
ノ内容ト人心ニ影響ヲ與フル點ナドニハ想到セズシテ、千頁ノモノヲ十錢ニ買ツタト
テ喜ンデ見タリ、百頁ノモノヲ五拾圓也ト聞イテ高過ギルト驚
イテ見タリスル愚昧極マル徒輩モアルノダ、獨リ圖書ノミナラズ其他ノ品物ニ於テモ

價格ヲ評定スルコトハ人格ヲ評定スルモリモ至難ナコトガアルト心得テ居レバ、滅多ニ人カラ蔑笑サレル様ナコトハ無イ。

「體格」トハ身體ヲ目途トシタルモノデ其比較ガ體格デアアル、而シテ體格ヲ評定スルコトハ醫者ヤ穢多デモ普通人デモ出來ルガ——國民ノ體格ヲ層一層頑健強大ニスルニハ天丁思想ヤ天國思想ヲ以テ先ヅ現今ノ**法律規則等カラ改正シ**ナケレバナラヌト云フコトデアアルカラ、眞ニ國ヲ想フ人ガアルナラバ彼ノ日夜皇國ノ振興策ニ獻身的活動ヲ爲シツ、アル愛國同志會ノ寺島天國氏ヤ、永田天丁氏等ノ所ニ自働足デモ運ンデ謹聽シタラ可カラウ。

「名聲格」トハ、物品ノミナラズ人間デモ名高イモノハ「名聲赫々」ト謂フノデアアル

カラ、唯其名ノ響ケル度ノ比較ガ「名聲格」デアツテ、**名譽ト名聲トハ又異**ルノデアアル。(第十五章參照)

「財格」トハ財産ヲ目途トシタモノデ其比較ヲ財格ト謂フノデアアル、故ニ如何ニ財産アリテ名聲赫タル人デモ、人格ニ於テハ頗ル劣等ナル人格者モアルノデアアル、又財産ハ尠ク賣名手段モ弄セザル人デモ、高潔ナル人格ヲ有シテ居ル人ガ在ルノダ。

「資格」トハ有形無形界ノ或物事ニ應用スルニ必要ナル條件ノ比較デアアル。
「品格」トハ、人ガ或物ヲ見テ崇高ナル觀念ヲ基トシテ發言スル文語デアツテ、品格ハ人類ノミナラズ宇宙ノ森羅萬象中ノ各有形物ニハ悉ク存有スルモノデアアル。
要スルニ**人格**ナルモノハ體格ヤ品格ナドノ如キ外部ニノミ現ハレタルモノナド

トハ違フノデアルカラ。品格ノ勝レナイ人デモ人格ハ至ツテ高い人ガアル、又人格ノ卑イ人デ品格ヤ財格ヤ口辯ハ立派ナ人形モアルノデアルカラ、結局人格ナルモノハ其人ノ死シテ後ニ非ザレバ完全ニ判ルモノデハナイ(稀ニハ生存中ニ判ル人モアレド)然ルニ現代ノ輕佻浮薄ナ徒ガ妄リニ人格ノ大小高下ヲ言筆ニ表ハスノハ餘リニ褒メタ事デモナイ、須カラク慎重ナル考慮ヲ要シタ後ニ人ノ人格ハ言筆ニ現ハサネバ國家社會ニ甚大ナル害毒ヲ流スニ至ルノデアアル、慎メヨヤ現代ノ人々ヨ。

著者ハ人間社會ニ於テ、神格ナラザル『人格』ト云ヘル文語ノアル以上、人格ガ人間ノ言行ニ發現セヌモノトハ謂ヘナイ、依テ「人格」ハ如何ナル方面ニモ現ハルト云フ事ヲ讀者ノ參考マデニ左ニ少シバカリ數例ヲ舉ゲテ示スコトトスル。

(い) 道途ニ於テ發揮セル人格

茲ニ產業界ノ一偉人(又ハ一小人)アリテ身ヲ閑居ニ置クヨリモ寧ロ國益的ノ產業界ニ働カントテ常ニ粗衣粗食シテ終日貨物ヲ積ミタル荷車ヲ曳キ某所ニ行クノ途中。過々坂アリテ如何ニ汗ヲ流シ全力ヲ注イデ曳ケドモ車ハ上ラヌ、其時ニ美衣ヲ纏ヘル人ガ通り掛ツテ荷車ノ後ニ手ヲ掛ケ全力ヲ以テ押シテ坂ノ上マデ力ヲ添ヘテ呉レタ、此ノ美衣ノ人ハ手ト新調ノ着物ハ汚シ且ツ時間マデヲ犠牲ニ供シタノデアアルガ、其人ノ人格ハ美衣ヨリモ尙美シク山ヨリモ尙高キ人格ヲ發揮サレタノデアアル。

(ろ) 訪問ノ場合ニ發揮セル人格

高キ人格ヲ有スル人ハ注意モ周到デアルカラ無論公德心モ充滿シテ居ル、若シ夫レ友人ノ宅デモ親戚又ハ他人ノ宅デモ訪問シタ時ニ、向フカラ自分ノ名ヲ尋ネラレヌ前ニ自己ノ姓名ヲ先ヅ發言スル、而シテ主人ノ許諾ヲ得タル上ニ於テ座室ニ參進シテ要件ヲ談ジ、又其家ノ主人ガ餘暇アラバ餘談快談等モ致シテ可イノダガ左モナクバ直チニ退座シテ去ル、是レ人格高キ人ノ訪問ぶりデアル、若シ夫レ犬猫ト同様ニ最初ニ自己ノ姓名モ名乗ラズシテ、つか／＼ト遠慮モナク他人ノ家宅ニ侵入スル様ナ者デハ此ノ一事デ既ニ其人格ゼラアル事ガ判明サレル、即チ犬猫同様ノ奴ト謂ハレテモ致シ

方ハナイノデアル。

(は) 友人ノ厄難ニ際シ發揮セル人格

平素ハ口ニ德義トカ人格トカ云々鳴ラシテ居テモ、友人ノ災難ニ遭ツタ時ニ於テ能ク判明スルノデモアル、人格ノ卑イ狡智ナ奴ハ友人ノ家族ガ不意ノ災難ニ遭ツタリ重病ニ罹ツタリシタノヲ知ツテモ知ラヌ顔ヲシテ居ル、又私己心カラ財物ヲ吝ム拜金ノ徒ハ唯手紙ヤ口頭ダケノ見舞デ濟マシテ恬然タル者モアルガ、眞ニ高キ人格ヲ備ヘタル人ハ口ノ尖キヤ筆ノ尖キナドニハ多クヲ表ハサヌケレドモ、**友誼ノ情意ヲ表ハス**ニ見舞品トシテデモ相當ニ財物ノ犠牲ヲ吝マヌノデアル、此ンナ場

合ニ最モ能ク人格ハ判明スルモノデアアル。

(に) 見解ニ於テ判明セル人格

凡ソ人ハ各々思想ノ異レルト同時ニ見解モ又各々異ルノデ、思想ノ高潔ナル人ハ眼ニ見エル物ノ多クガ高善ニ觀ヘルケレドモ、思想ノ下劣ナル人ノ眼デハ何デモ下劣ニ見エル事ガ多イ、思想ノ高潔ナル人ハ、他人ノ行爲ヲ觀聞シテモ言語ヲ聞イテモ、比較的の高善ニ解スルガ、下劣ナル思想ヲ有スル人ハ、他人ノ行爲ヲ見テモ言語ヲ見聞シテモ其他ノ事々物々モ下劣ニ感ジテ觀ル事ガ多イノデアアル、甚ダシキハ我等正良ナル日本國民ノ祖先ヲ禽獸思スル程ニ劣惡ナル思想ヲ有スル奴輩ガナイデモナイ、思想ノ

高卑ハ即チ人格ノ高卑ニ關スルノデアアルカラ、人格ノ高イ人ハ高善ナル思想ニ滿チ、人格ノ卑イ人ハ高善ナル思想ガ貧乏デアアル、是ニ於テカ人格ノ高卑ハ其人ノ諸事見解ノ結果ニ於テモ判然スルノデアアル。

若シ夫レ高官ノ役職ニ在ル者ノ思想見解ガ下劣ナル人格者流デアラバ、其ノ下ニアル役人モ國民モ自然下卑ナル思想見解者ト化シテ下劣ナ人格者ガ殖ヘル、ト云フ眞理ヲ穿チタ様ナ話モアルケレドモ **臣民ハ尊キ 陛下ノ赤子デア**ツテ大臣ヤ役人ノ弟子デハナイノダカラ、假令前司放大臣ヤ前文紋大臣等ノ思想見解(即チ人格)ノ如何ニ拘ラズ、國民ハ斷ジテ下劣ナル思想見解ノ人格者ト化シテハナラヌノデアアル。

尙ホ區々別々タル宗教界ヲ觀ルニシテモ人格ノ狭少ナル人ノ見解デハ、國亡ビタル印度人ノ釋迦ヲ中與ノ祖トセル佛教ハ絶對ニ惡イトカ、或ハ現代世界中デ最モ醜慾人種ナリト賤劣視セラレテ居ル猶太人ノ祖先地ニ生レタル詭理巢徒教ハ惡イカラ排斥セネバナラヌトカ、其他種々ノ缺點バカリ捉ヘテ各宗教ヲ劣惡視スルコト恰カモ狭量ナル或裁判官ガ嫌疑者ノ善ナル本性ト平素善行ノ多キヲ看ルノ明ナクシテ、唯一時ノ不善行爲ノミヲ捉ヘテ判決ヲ下スト同然デ、決シテ神ニ近キ崇高偉大ナル人格者ノ見解トハ謂ヘナイノデアアル、之ニ反シテ神ニ近キ高大ナル人格者ハ、世界ノ主神ノ御靈ノ鎮座マシマス所マデ直覺識了シテ居ルカラ、區々タル宗教界ヲ視テモ其ノ見解ガ左ノ如ク比較的善意ノ見解ヲ下スノデアアル。

『畏レ多クモ世界ノ主神タル深遠極リナキ 天照皇大神ハ萬事ガ御公平デアリ、物質的文明デモ或ル一地方ノミニ永久ニハ與ヘテ置カズシテ數萬年ノ永キ年月ニハ世界ノ各地ニ交代的ニ文化ヲ與ヘ給フノデ、其證據ハ最初世界ノ或ル一部ノ地ニ御光臨マシマシタ御時代ニ於テ既ニ御神靈ヲ物形ニ現シ給ヘル三種ノ神器ト云フ立派ナ御寶物マデ出來得ル程度ニ文明ヲ本ツ國ニ與ヘ給フタノデアアルガ、其ノ後ハ唐ニ印度ニ希臘ニ埃及ニ和蘭ニ西班牙ニ葡萄牙ニ、現今ハ又英米獨佛ナドト云フ地方ニマデ **交代** 的公平ニ物質文明ヲ與ヘ給ヒ、博ク世界中ヲ愛シ給フト同様、人心救済デモ常ニ世界ノ墮落セル思想ノ土地毎ニ使聖ヲ生レシメ給フテ救愛サレタノデアアル、嘗テ印度ノ人心ガ非常ニ惡風潮ニ墮落シタ時代ニハ印度ニ靈使釋迦ヲ起タシメテ名ヲ佛教ト

稱シテ人心ヲ個人的ニデモ向善ナラシメ、又猶太ノ人心ガ墮落ノ底ニ沈マントセル時代ニハ靈使リきりすとヲ猶太ノ地ニ生レ起タシメ、又あらびやト云フ地方ノ人心ガ物慾邪念ニ流レ墮落セル時代ニハ其地方ニまほめつとナル者ヲ生レ起タシメ靈使まほめつとヲシテ人心救済ノ重任ニ當ラシメ、其他世界ノ各地ニ大小ノ聖人ヲ生レシメ救済ノ任ニ當ラシメ給フタノデ、土地ト土語土ノ異ナルニ隨ヒ其心靈界主宰者しノ稱呼ハ、佛トカスほばトカゴトドトカ其他種々ニ言テ居ル、斯ル誤稱ハ未ダ向上進歩ノ度ガ低イカラノ事デアルガ故ニ、別ニ各宗教ヲ絶對ニ排斥スル必要ハナイノデ、**唯事物ノ根本ヲ重ンズル**コトハ最モ至當デアルガ、枝葉しハ枝葉トシテ其レ相當ニ靈使ノ傳ヘタル宗教モ、未ダ世界多クノ人類ガ好ク向上セヌ内ハ、其低卑ナル人々

ノミヘハ靈使傳來ノ枝葉教即チ區々別々ノ宗教）デデモ勸善ノ道ヲ圖ラネバナラヌ、併シ何時マデモ世界ノ人類ヲ枝葉教ノミノ下ニ置イテハ、何時マデ經ツテモ眞ノ神ニ近ヅクコトガ出來ズシテ、天地間ノ主神ヲ識ルノ時期ガ無ク、世界心靈界ノ本源地ヲダモ識ル時ガ到來セズ隨ツテ世界ノ大平和モ果シ得ヌカラ、一日モ速カニ之ヲ直覺識了スル程度マデ向上進歩セシムルノガ其本源地ニ祖先カラ生ヲ受ケ居ル日本臣民ノ博愛的重大任務デアル、トハ是レ神ニ近キ世界の偉大崇高ナル人格者ノ見解ト謂ハネバナラス。

因ニ如何ナル宗教モ日本ニ來レバ必ズ大和魂大和魂ノ滿チタル日本人ノ力ヲ以テ忠孝本位ノ日本化スルノ實蹟ヲ觀テモ、世界各宗教ノ教祖ガ世界ノ主神天照皇大神ノ御

靈使タルコトガ明々瞭々デハナイカ。

尙ホ日本ガ世界ノ本源地デアル、ト云フコトハ「世界ノ王政復古」ナル聖著ニ立證シテアルノヲ見タ人々ノ知ル所デアラウ。

(ほ) 借財ニ於テ發揮セル人格

人間社會ニ「人格」ト云ヘル稱語ノアル以上、各々人格ガ人間社會ニ現ハル、ハ前ニモ記述シタ通り當然ノ事デアルガ、人ノ負ヘル借財ニ於テモ其人格ガ發揮サル、ノデアル、即チ借財ノ動機ニ於テ種々人格ノ高卑ガ生ズルノデアル。

例ヘバ世界ノ本國ヲダモ知ラデ國家社會的觀念ヲ離レテ、自己則チ私己ト云フ狭

少下劣ナル觀念ノ下ニ唯私己ノミヲ利セントシテ或ル事業ヲ經營スルガ爲メニ借財シタリ、或ハ自己ガ將來年俸月給ト云フ様な金ヲ拜收セントノ慾念ヨリ或職務ニ就カンガ爲メノ學費ニ窮シテ借財シタリ、或ハ汗吝嗇家タリテ神聖ナル勞働ヲ厭ヒ、安閑トシテ時間ヲ空想ニ費シタルガ爲メニ借財ヲ起シタリ、或ハ餘リニ世ヲ益セザル相場トカ其他ノ遊蕩費ニ借財シタリ、或ハ自己ガ唯大臣ニデモ成リたさノ餘リ自己ヲ好評シテ貫ハンガ爲メ、他ニ知レス様ニ窃カニ或ル方面ノ人々ヘノ贈賄費用ヲ借財シタリ、甚ダシキハ大和魂モ無キおてんば婦人ノ犠牲費ニ窮シ國家社會ヲ辨フルニ違アラズシテ、世ニ無益ノ高利貸ヲ跋扈セシムベキ原動者トマデナリ下リテ借財ヲ重ネタリスルナド是皆狭少ナル下卑ナル私己

主義ヲ發揮セル借財デアアル。

之ニ反シテ人格ノ高大ナル人ハ世界國家社會ヲ念頭カラ放タズ、自己則チ國家（國家即チ自己）ト云フ信念ヲ以テ農業スルニモ人類ニ必要ナル諸產物ヲ些少ニテモ増シタイ、商工業ヲ爲スニモ其事業ヲ發達セシムレバ少シナリトモ國家社會ノ爲メニナリ、亦世界國家ノ一員トシテ有用ナル自己ノ生活費ハ附隨シテ來ルト云フ觀念ノ下ニ其**遂行費ニ窮シタル時ニ借財スル**、或ハ發明品ヲ世ニ出現セシメント努メタルガ爲メ借財スル、又學問スルニモ或學術ヲ研究シテ實地ニ應用シタナラバ國家社會ヲ益シ、隨ツテ世界國家ノ一員タル自己ノ生活費モ自然ニ收得ノ日アラシク如何ニカシテ其學術ノ**蘊奧ニ達シ**タイ、トノ一念カラ熱心勉學中、學資ニ窮セル

ノ際他人カラデモ見込マレテ學費ヲ貸ス人がアツタナラバ借財デモ爲ス事ガアル、又滿身**齷齪**タル至誠ヲ口ニ筆ニ吐露シテ國家ヲ益セントノ赤誠ヨリ其鼓吹運動費ヲ要スルニ當リ借財ノ犧牲ヲ被ムリ、或ハ醜俗ナル惡風潮ニ抗シテ世ヲ救ハンガ爲メニ、敬神尊皇ノ圖ヤ書冊ヤ其他世ヲ益スベキ圖書ヲ以テスルニ、其普及費ノ不足ヲ生ズルニ當リ自己ノ身ヲ以テ借財ノ衝ニ當リ、**眞ニ天下國家ノ爲メ犧牲的借財**ヲ爲ス人モアル、是等世界ノ本ツ國ヲ念慮シテ**至誠ノ勃發**セルニ因リテ生ジタル借財者ハ人格ノ高善ナルヲ證明シテ居ル。一口ニ圖書ト言ツテモ狭少卑猥ナル私己趣味ノ畫ヤ脚本ヤ小説モアレバ、世界ノ本ツ國ヲ基念トセル高大ナル趣味ノ圖書モアルガ如ク、借財モ一口ニ借財ト言テモ國家社會ヲ念頭ニ置カ

ズシテ其動機ガ唯利己主義ノ下ニ生ジタル借財モアレバ、國家社會ヲ利セントノ一念ヨリ自己ハ唯其一機關タルノ犠牲的至誠ノ下ニ生ジタル借財モアルノデ、斯ク人ノ人格ハ借財ノ動機ニ於テモ高卑ノ差ガ生ズルノデアアル。收入ヲ得ントスル動機ニ於テモ然リデアアル。

因ニ傘ヲ借リテモ早目ニ返還スルノガ至當ナルト同様其他ノ物品デモ金錢デモ借リタモノハ貸主カラ催促ヲ受ケヌ中ニ早目ニ返還スルノガ人生ノ徳義ヲ重ジタ態度デア
ル。

(へ) 床ノ間ト楯間ト書齋等ニ發揮セル人格

床ノ間ハ人間ノ家屋中で最モ高位高尙ナル所デアツテ、人ノ人格モ床ノ間ニ於テ能ク發揮サレルモノデアアル、又楯間デモ書齋デモ發揮サル、事ガ多イ。

私己一身ノ樂シミヲ貪ボラントスル狭量ナル思想ノ人格者ハ大祭日ニモ唯私己一人ノ勝手ナ道樂デ、宇宙ノ眞理タル皇祖崇拜ノ思想ニ關係モナキ花鳥ノ繪トカ、尊皇的ナラザル書トカ甚ダシキハ如何ハシキ下劣ナ畫ナドノミヲ、**尊嚴ナル床ノ**

間ヤ楯間ニ掲ゲ、又書齋デモ其ンナ風デ毫モ皇祖崇拜 尊皇思想ニ關係モナキ唯私己ノ勝手ナ狭キ卑キ趣味ノ書冊ナドヲ交ゼ求メテ、恬然恥ヂトモ思ハヌ愚劣狭少ナル私己醜味ノ人格者ガアル。

高善ニシテ偉大ナル人格者ハ決シテ斯ル下劣ナル狭少ナル私己的ノ趣味ナドハ念頭

ニ無クシテ宇宙ト世界ト基念トセル高大ナル趣味ヲ有シテ居ルカラ、自然ニ世界ノ主神ノ御靈ノ鎮座マシマス土地モ能ク識ツテ居ル、而シテ其深遠極リナキ至高至貴ナル世界ノ主神(即チ皇祖)ノ御皇統ガ 天皇陛下デアルト云フ事モ知ツテ居ル、然ラバ公平ナル眼ヲ以テ世界ノ何地ニ 天皇陛下ハ御在シマスカト云ヘバ、世界中何處ヲ探シ廻ツテモ、多クハ二代カ四代カ二三十代シカ續カヌ皇帝トカ大統領トカ會長トカ云フ様ナモノガ多クシテ 天皇陛下ト尊稱シ奉ラネバナラヌモノハ世界中獨リ唯大日本帝國ニ御高臨マシクテ在セラル、事等ヲ熟知シテ居ル、斯クモ世界的崇高偉大ナル事ヲ能ク識リテ、下劣ナル狭少ナル私己趣味ノ尠イ大人物ハ床ノ間モ楯間モ書齋モ自然崇高ナル物が多ク、當然**智情意ノ結晶體タル三種ノ神**

器

ニ關スル掛軸ヤ尊皇的ノ書ナドヲ掲ゲテ靈祖崇拜ノ美志ト尊皇思想トヲ發揮シテ

居ル、是ニ於テ**世界的偉大崇高なる人格者**ト狭少下卑ナル

私己的人格者トガ**判明**サル、ニ至ルノデアアル。此ナ事ヲ想到セズ

シテ只輕々シク人ノ人格ヲ云々スルナドハ即チ**世界ノ賊**デアアル、**世界心靈界**

ノ本源タル大日本ノ賊デアアル、賊デナケレバ未ダ神意ニ遠ザカレル一種ノ愚昧者デア

ル、吾人ハ人造ノ物質ヤ又ハ人造ノ小説ニ似タル宗教ナドヲ主ナル論據トシテ人格ヲ

云々スルモノデハナイ、世界ト宇宙ト人類ノ智情意トヲ論據トシ基念トシテ、未ダ人

格ナルモノ、真意義ヲ識ラス人ノ爲メニ記述スルノデアアル、即チ世界ノ一人ナレバコ

ソ世界ノ爲メニ斯クハ告白スルノデアアル。

再言ス、吾人ハ宇宙ト世界ト人生トヲ除外シテハ人格ナルモノハ全然無キコトヲ斷言シ得ルノデアアル。

(と) 職業撰擇ノ心根ト人格

職業ニハ貴賤ノ別無シ、トハ皆人ノ口ニスル所デアツテ吾等モ異存ハ無イガ、職務撰擇ノ其心根ヲ公平ナル眼デ觀察スレバ、其人格ノ高否ヲ略ボ知ル事ガ出來ルノデアアル、即チ勞多キニ比シテ自己ノ收入尠ク國家社會ノ爲メニ功多キ職務ヲ進ンデ選マントスル貴キ**犠牲的至誠ノ人**ト、勞尠キ割ニ世間カラ自己ノ身ニ多クノ收入ヲ得ベキ職務ヲ選ム利己主義ノ人トハ、既ニ其心根ニ於テ多大ナル差ガアルノデ、

前者ハ美シキ犠牲心ト公共心ニ富メル至誠ノ人デアツテ、後者ハ其美シキ心根ガ乏シク狭少下劣ナル私己主義ニ富ンデ居ルコトガ判明サレル。

例ヘバ世界公益的觀念ノ下ニ、世界ノ平和ヲ期スルニ邪ヲ擊滅スル所ノ日本軍人タラントノ希望、又ハ私己收入ノ如何ニ拘ハラズ國家社會ノ安寧秩序ヲ保ツニ必須ノ機關タル警察官吏ノ職ニ身ヲ投ジタイトカノ如キ、貴キ犠牲的至誠ノ人等ハ是レ皆世界的偉大崇高ナル人格者ノ一人デアアル、之ニ反シテ世ヲ益スル事尠キ割ニ自己ヲ利スル事ノ多キ女郎屋藝者屋、及ビ之ニ類シタル職業或ハ相場師等ノ如キ業ヲ好ム者ハ、唯私己的狭少ナル人格者ト謂ハネバナラヌ、吾人ハ斷言ス、職業ニ貴賤ノ別ハナイガ職業撰擇ノ心根ニ於テハ各々人格ニ大小高卑ノ差アル事ヲ宣言シ得ルノデアアル。

右ハ一二ノ例デアルガ、産業及其他ノ職業デモ兎ニ角世界的觀念カラ先ヅ世界ノ本ツ國ノ爲メニ有益ナル職業ヲ撰ンデ至誠以テ其ノ職務ニ奮闘スル天下幾萬ノ人々ハ皆是レ多少高大ナル人格ヲ有シテ居ル人ト言ツテ差支ハ無イノデアアル。

因ニ軍人界ヤ、**天爵ノ高キ警察官吏**中ヨリ稀ニ腐敗セル人物ノ出ルノハ、未ダ神意ニ遠ザカツテ至誠ノ足ラザル身ヲ以テ、美シキ犠牲的ノ重職ニ就イタ者ガアルカラデアアル。

(ち) 談話ニ於テ發揮セル人格(爲志士ヤ小倉女ナドモ謹讀改行シテハ如何)

凡ソ人タル者ノ談話ニハ禮儀順序ト云フモノガナケレバナラス、例ヘバ人ノ宅ニ要

件ヲ以テ訪問シタ時ハ先ヅ初メニ禮儀ノ言動ヲ現ハシ、早ク順序的ニ要件ヲ話シテ談終ラバ直チニ快顔以テ退座スルノガ至當デアアル、何時マデモ人ノ多忙ナ所ニ餘談ナドヲ弄シテ人ノ感情ト忙時ヲ妨ゲルガ如キハ人格高キ人ノ態度デハナイ、又友人ヤ知人ノ所ニ遊ビニ行キテモ最初ノ禮儀ヲ厚クシ、快談笑談ノ中ニモ自然順序的ニ談話ヲ爲ス人ハ相當ニ人格ヲ辨^{わか}ベテ居ル人デ、殊ニ二人又ハ數人各々先ヲ爭フテ私個趣味ノ話ヲ爲シタガ爾際中ニ獨リ超然^{てうぜん}トシテ自分ガ言ヒタキ事モ寛大ヲ持シテ言ハズ先ヅ他ヲシテ言ハシメテ措ク、併シ世界ノ本ツ國ニ關スル事ナラバ他ヲ排シテデモ談論スル、而シテ崇高偉大ナル人格者ノ快談笑話中ニハ敬神尊皇的ノ談話ヤ、道德談ヤ國家社會的ノ談話ヤ、人ノ美談等ガ多ク交ジル、之レニ反シテ人格ノ下劣^{げれつ}ニシテ狭少ナル徒輩

ノ談話中ニハ私己趣味ノ話ヤ、人ノ寛大ヲ無視シテ中傷スル話等ガ多クシテ、且ツ自分バカリ出袈張ツテ話シタガスルモノデアル、女ノ腐ツタノヤ偽志士ナドニ此ンナ奴輩ガ多イモノデアル、又人格ノ高イ人ハ談話ノ約束ヲ堅ク守ルケレドモ、下劣ナ奴ハ談話ノ約束ヲ無視スル事ガ多イ、甚ダシキハ同志ヲ欺ムイテマデ大臣其他ノ職ニ就キタガル卑劣漢ガナイデモナイダラウ。又小倉女ヤ偽志士ナドノ中ニハ、**人ガ誹毀罪ニ訴ヘ**ズニ黙ツテ容赦シテ居レバ、益々増長シテ人ヲ中傷シ、却ツテ己レノ人格ヲ下ゲル人間ノ屑モ在ルソウダ、此ンナ屑ハ神田猿樂町ヤ西小川町邊リバカリデハナイ、他ノ市町村ニモ、氣ヲ附ケタラ往々アル筈ダ。

(り) 財ノ使途ニ於テ證明セラ

ル、人格 (偽志士顔色アリヤ)

人ハ皆其ノ國家社會アリテコソ生存シ得ルモノナレバ、乃チ各自ハ國家社會ニ對スル當然ノ義務 (實ハ毎日生存ノ御禮) トシテ自カラ進ンデ國家社會ニ盡ス所ガナクテハナラス、身分ニ較ベテ國家社會ニ盡ス程度ノ大小ニ依ツテ其**人格ニ高下ノ差**ガ生ズルノデアル、即チ公共心ニ富メル人ハ自己ノ身分ニ較ベテ國家社會ニ盡ス所ガ多イケレドモ、公共心ノ貧シキ淋シイ人ハ如何ニ自己ガ財産ニハ富ンデ居テモ其割ニ國家社會ニ盡ス所ガ少イノデアル、世ニハ「國民各自ハ國家ノ人デアルカラ

各々慾張ツテ財ニ富ミサヘスレバ可イ別段國家社會ノ爲メニ私費ヲ抛チテ盡スノ必要ハナイ、ナド、詭辯ヲ弄スル者モ稀ニハ在ルカモ知レンガ、其レハ其言フ奴ガ亡國ノ猶太人如キ財慾利己主義ノ人形デアルカラ、自分ノ陋劣ナル人格ノ醜ヲ蔽ハンガ爲メニ斯カル詭辯ヲ弄スルノデアツテ、恰カモ文弱流ノ徒ガ健全主義者ニ向ツテ廣告文デモ何デモ反對ノ屁理屈ヲ竝ベテ見ルト同然デ自カラ人格ノ狭少ナルヲ證明スルモノデアアル。

吾人ノ茲ニ謂フ「財ノ使途ニ於テ證明サレル人格」トハ、別ニ戰時ニ身分ニ較ベテ多額ノ金財ヲ獻納シタトカ云フ様ナ或ル特種ノ場合ニ於ケル美舉ノミヲ謂フノデハナクシテ、「平素ノ使途ニ於テ」ト謂フコトデアアル。

例ヘバ茲ニ甲乙二人アリテ甲ハ市長ノ職ニデモアリツイテ年俸壹萬圓ナラ壹萬圓ヲ取ル、乙ハ味噌屋デアツテ一年間ノ收利ガ市長ノ五分ノ一ノ貳千圓有ルト假定スレバ、甲ハ月收八百餘圓デ乙ハ月收百六十餘圓デアル、然ルニ此ノ月收八百餘圓ヲ取ル甲ハ、平素自己ノ名ヲ博シテ大臣ニデモ成リタイトノ慾望心カラ、交際費ト言フ美名ノ下ニ或ル方面ノ者等ニ人ノ知ラヌ様ニ贈賄シテ私己ノ名ヲ世間ニ好評セシメ、或ハ自己ノ肉慾ヲ滿タサンガ爲メニ、大和魂モ無キおてんば婦人ノ犠牲トナツテ其ノ婦人ノ言フガマ、ニ財ヲ浪費スルコト宛然世ノ放蕩息子ト同然デ、月收八百餘圓デモ年俸壹萬圓デモ猶ホ足ラズ、果テハ社會道德モ辨フルニ違アラズシテ、世ニ高利貸者ノ現ル、ハ高利借者ノ發生スルニ原因ス」ト云フ眞理ヲダモ識ラズ（或ハ腹ノ底ニハ知ツテ居ル

カモ知レン) **高利貸ヲ跋扈セシムベキ動機ノ高利借リ**トマデ成ツタリシテ、社會道德界ヲ益々劣悪ナラシムルノ行動ガ有ツタト假定スル。

然ルニ月收百六十餘圓ノ味噌屋ハ平素此金ヲ如何ニ使用スルカト云フト、自家ノ衣食住ニハ非常ニ節約ヲ實行シ、其ノ餘財ヲ成ル可ク國家社會ヲ益ス可キ方面ニ散ラス、觀ルモノハ芝居デハナク小説デモナイ、圖書デモ何デモ國家社會ヲ益ス可キ者ヲ選ンデ觀、聽クモノハ藝者ノ聲デモナケレバ三味線ノ音デモナイ國家的ノ音樂ヤ **世界王政復古ノ話ヤ** 忠君愛國的ノ話或ハ有益ナル物質界ノ學說ヲ聞クヲ趣味トナシ、閑アラバ武術ノ道場ヲ觀ニ行キ或ハ尊キ我が、皇室ノ事柄ヤ深遠ナル國祖

ノ御貴事ヲ奉記セル書冊ヤ、明治大帝ノ御製謹解書等ヲ繙キ、尙ホ進ンデハ公德ニナルコトノ教授ヲ一人ヅ、ニテモ施シ、或ハ多數ノ部下ヲ有シテ居ル富豪ガ世界的觀念ヲ以テ、世界ノ主神ヲ部下等ニモ敬拜セシメントノ至誠カラ。敬神尊皇的ノ圖ヤ書冊等ヲ買ツテ部下一同へ施シ。或ハ時ニ有爲ノ青年ヤ尊皇思想鼓吹者等ノ財ニ窮セルヲ見聞シテハ自己ノ餘財ノ範圍内ニ於テ及ブ限リヲ其ノ人等ニ寄贈スルナド、最モ崇高堅實ニシテ仁義博愛ナル方面ニ財ヲ費スヲ無上ノ趣味トスル、決シテ旅館ヤ自宅ニ於テ驕慢ナル生活モ爲サズ、人竝以下ノ生活ヲ實行シ餘財ヲ以テ斯クモ天下國家ノ爲メニ盡ス程度ガ自身ニ較ベテ多イ。

斯ク前述ノ如ク甲ハ乙ノ五倍モ收入ヲ得ナガラ殆ンド其全部ハ私己ノ慾望ノ爲メニ

費シ且ツ國家社會ニ餘リニ有益ナラザル高利貸マデ跋扈セシムル動機者(高利借リ)トマデ成リ下リ、乙ハ甲ノ五分ノ一ノ收入ナレドモ高潔ナル思想ノ下ニ、敢テ自己ノ爲メニハ費ス所ヲ吝嗇家ト謂ハレテモ其ノ被評ヲ犧牲ニシテ節儉シ、餘財ハ之レヲ公益的趣味ノ方面ニ散ラストセバ、其人格孰レガ高イカト言ヘバ、無論著者ノ言ヲ待ツマデモナク乙者ノ人格高キ事ハ萬人ガ萬人斷定シ得ル所デアラウト思フ、世ノ多クノ醫者ヤ看護婦會ヤ質屋銀行員會社員ナドモ、右乙者ノ散財振リニ倣フテハ如何。

以上既ニ人格ナルモノハ如何ナルモノデアルト云フ事ハ(い)カラ(り)マデ記述シタカラ最早識了セル人々ハ文ヤ言葉ニ人格ヲ云々スルニ誤稱誤記セヌ方ガヨカラウ。

第三十二 閱

今ヤ**閱**ナル文語ガ有ユル階級社會ニ流行シテ居ルガ、此**閱**ナル文語ノ意義ヲ能ク識リテ言筆ニ表ハスノナラバ、聞イタ人カラモ蔑笑サレズニ濟ムガ、若シ此文語ノ意義ヲ能ク識ラズシテ發言スルト、識者ノ腹ノ底デ蔑笑サレルコトガアルノダ、故ニ斯ル文語ヲ口ニデモ筆ニデモ表ハス人ハ能ク辨ヘテ居タ方ガ可カラウ。

抑モ**閱**ト云フ文語ノ意義ハ、現代的概念ヲ以テスレバ、**系統的團結**又ハ**勢力アル團結**ト云フガ如キ意義ノモノデアツテ、世界中ヤ各國內ニハ**閱**ノ種類ガ多々アル、即チ思想閱、學閱、財閱、地方閱、政黨閱、官僚閱等其他種々ア

ル、而シテ**世界的地方閥**トシテハ英閥、獨閥、佛閥、露閥、米閥、大和閥等其他種々アリ、又**靈教閥**トシテハ、現代ヨリモ古キ未開時代ニ主唱シ始メタル奇利巢徒教閥、佛敎閥等(其他種々)ト、現代新ラシク發表シタル天丁教等(其他種々)アル。

斯クモ多數ノ閥ノ中ニハ、社會人類ノ爲メニ良閥モアレバ惡閥モアルノダガ、先ヅ世界ノ大平和ヲ果スニハ、各思想閥ニ囚ハレテ居ル世界中ノ各地方人等ガ眞ニ、先入主ト私心ヲ去ツテ、大和閥乃至天丁教ニ正同スレバ、世界ノ大平和ハ何デモナク期シ得ルノデアアル、但シ古キ未開ノ時代ニ發表サレタル奇利巢徒教ヤ佛敎等モ確カニ個人個人ノ平和ニハ貢獻シ得テ、能ク**小愛主義ノ本領ヲ發揮**シ得

タガ、千九百餘年モ二千五六百年モ長キ時間ヲ要シテモ、到底**大愛主義ナル世界ノ大平和**ハ果シ得ヌコトガ事實ノ上ニ證明サレテ居ルノデアアル、若シ眞ニ世界中ノ人々ガ**先入主ト私我心トヲ去ルノ誠勇**アリテ、纔然大和閥乃至天丁教ニカヲ入レルトナレバ、右年數ノ三分ノ一ダモ五分ノ一ダモ十分ノ一ノ時間モ要セズシテ確然世界ノ大平和ハ期シ得ラレルノデア

ル。
因ニ、世界神靈界ノ本源地タル日本ハ今ヤ世界ヲ大平和ニ導カネバナラス時機ニ到達シテ居ルノニ、此際眞ニ至誠以テ世界ノ爲メ、本ツ國ニ盡ス志士ノ尠キガ爲メ、未ダ具體的ニ世界ノ大平和ヲ果スコトガ出來ズ、狭キ區域ノ本國內ニ於テ狭イ量見

ノ下ニ政權慾ナドニ憧憬レテ、苦駄ラン争ヒナドヲ致シテ居ルナドハ實ニ詰ラヌコトデハナイカ、若シ夫レ險政會閥デモ、政悠會閥デモ、官流閥デモ、狡成會閥デモ、又ハ琉球カラ北海道マデノ區域ノ王政復古ニ至誠ノ力ヲ臻シタル薩長土肥閥デモ、何閥デモ閥ト謂フモノガアルナラバ、天下ノ諸閥悉ク宇宙ノ真理タル大和閥ニ正同シテ一日モ速ニ世界王政復古ノ實ヲ舉ゲテ惡クハアルマイ。

尙ホ、宇宙ノ真理タル大和閥乃至天丁教トハ如何ナルモノデアルト云フコトハ「世界ノ王政復古」ナル一大健著ヲ精讀シタ人々ノ既ニ能ク識ツテ居ル處デアラウカラ、茲ニ小婦ガ詳述スルコトハ遠慮致シマス。

第三十三 奸商と奸官

近頃バカリデナク世人ノ口カラ **奸商**トガ **奸官**トカ云フ文語ガ出ルガ、此文語モ能ク其意義ヲ辨ヘテ居テ發言シタ方ガ可カラウ。

抑モ **奸商**トハ如何ナルモノカト云フニ、之ヲ一口ニ言ヘバ、**國民道德**ニ背イタ惡イ商人デアルカ？ 之ガ解斷ヲ下サンニハ頗ル六ヶシイ様ナ事デアアルケレドモ、公心平氣デ觀斷セバ容易ニ解決シ得ラル、事デアアル。即チ國家ノ保護ノ下ニ生存シテ居ル人間ハ **只ノ道德**ヨリモ **國民道德**ヲ重ンゼネバナラヌ次第ノ

モノデアアルカラ、此國民道德的觀念ト經濟的觀念ヲ以テ觀斷スレバ即座ニ判明スルコトデアアル。

例ヘバ戰時ニ於テ敵國ニ物品ヲ賣リテ自分ニ儲カラウトスルガ如キ者、又ハ戰時デモ平時デモ、時ハ何時デモ物品ヲ買占メ或ハ賣リ客ミテ、**眞面目ナル國民多數者ノ生活上ニ迷惑**ヲ及ボシテ恬然タル徒輩、又ハ洋紙ヲ活字ニ染メテ販賣スル商人デアリ乍ラ、奸策ニモ何學會トカ云フ美名誇大ナル名稱ヲ附ケテ、田舎ノ青少年ヲ釣ルニ便利ナ有名ナ奴等ヲ會長トカ顧問トカ其他種々ノ役名ヲ並べ立テテ、田舎人ノ眼ヲ眩惑セシムベキ龍大ナ廣告ヲ爲シ、而カモ中學校ノ實際教師連ノ能力ヲ、裏面ニ輕蔑シテ、洋紙ノ印刷物ト同一視シタル廣告ヲ爲シ、以テ

誇大ナル建築ヤ華奢贅澤ナル生活ヲ爲シ得ル程度ノ暴利ヲ擱ミタル奸徒等、先ヅ之等ガ奸商中ノ最大奸商デアツテ

其他眞面目ナル國民中ノ多數者ニ迷惑ヲ與ヘテ自己ニ暴利ヲ貪ボル徒輩等ハ是皆奸商デアアル。

(吾人ノ茲ニ**迷惑**ト謂フノハ、強盜ガ監獄ニ投セラレタリ、醜狠思想者ガ恐喝

ニ遭ツタリ毆打サレタリ警官ニ捕縛サレタリ鐵槌的思想ノ圖書ノ爲メニ痛悔ヲ覺ヘタリスルノヲ**迷惑**ト謂フニ非ズシテ、常ニ國家ヲ基念トセル國民道德ヲ重ンズ

ル眞面目ナ國民ガ迷惑ヲ被ムルノヲ**迷惑**トハ言フ次第デアアル。) 又奸官トハ、大ハ自分ガ官職ニ在ル時代ニ或富豪ト結托シテ大ナル學校デモ建テル

程ノ大金ヤ、巨萬ノ御馳走費ヲ浪費シテモ猶ホ盡キヌ程ノ大金ヲ得タ者ヤ、又ハ司放
 大臣デモ致シテ居ル頃ニ常ニ部下ニ命ジテ微罪者ヲ多ク檢舉セシメ、大罪人ノ金持カ
 ラハ私カニ賄賂デモ取リテ、從前高利貸カラ借金デモシテ居タ巨萬ノ元利金モ返済シ
 得テ猶ホ贅澤婦人ノ生活費ニ不平ヲ鳴ラサヌヤウ歡心ヲ
 買ヒ得ル程度ノ大金ヲ殘セシ者等、此等ハ奸官中ノ最大奸官デア
 ツテ、此他小ハ或稅務官吏ガ釀造家カラ收賄シタリ、或ハ機密ヲ嚴守スベキ警察官吏
 中ノ或者ガ何等カノ醜ナル魂膽アリテ、語ラズトモ濟ム事ヲ、善眼識ナラザル惡眼識
 ニ富ムノ餘リ濫リニ人事ヲ言外ニ漏ラシタリスル者等ニ至ルマデ是皆奸官デア
 而シテ官吏ハ國家ノ雇人デアルトシテモ、國民ハ國家ノ健善分子デナクテハナラヌ

次第ノモノデアルニ、近頃怒スベカラザル不埒ナ言ヲ弄スル大

奸徒ガアルサウダ。其奸徒ノ曰クニハ「商人ハ元來ガ營利ヲ目的トスルモノデア

ルカラ、洋紙ヲ活字ニ染メテ販賣スル中學會トカ何學會トカ云フ名義デモ、相場師ト
 カ仲買人トカ云フ名義デモ、又ハ職業名ヲ附ケテモ附ケヌデモ、如何ナル奸智奸策ヲ
 以テ誇大ノ建築ヤ華奢極マル生活ヲ爲シ得ル程度ニ暴利ヲ擱ンデモ奸商ト謂フベキモ
 ノデハナイ」ト言フ奸徒モアルソウダガ!! 然ラバ其レヲ善商ト謂ヒ得ベキモノカ?
 とほけるニモ程ガアル!! 國民ヲ馬鹿ニスルニモ程ガアル
 デハナイカ。斯ル徒輩ヲ如何テ善商ト謂ヒ得ベキゾ、是ヲ奸商ト命名セズシテ何ヲカ
 奸商ト謂フ?

國家ハ小供たましノ誅學講義録デ暴利ヲ擱ム
 奸徒ヤ米穀薪炭紙類其他日用品ヲ買占メ賣
 吝ミテ暴利ヲ得ル徒輩ノミノ國家デハナイ
 !! 國家ハ奸ナル少數者ノミノ國家デハナクシテ眞面目ナル多數國
 民ノ國家デアアル。此多數者ノ眞面目ナ生活上ニ迷惑ノ及ブ程度ニ少數
 者ガ暴利ヲ得ルノガ即チ奸商デアアル。

然ルニ又道徳心ノ痲痺シタル或奸商ハ盜者猛々しい根性ト同性ヲ有スルモノニヤ、
 「今マデノ中ニハ奸官モアルカラ商人ハ如何ナ暴利ヲ得テモ差支ヘナイ」ト言フ様ナコ
 トヲ仄メカシテ居ル腐腸漢モアルソウダガ、其レハ「人ガ強盜ヲシタカラ自分モ強盜

スル」トカ、又ハ「卑怯者ガ月夜ニ古木ノ影ヲ化物ト誤視シタカラ自分モ誤視セネバ
 ナラヌ」トカ、或ハ「淫猥思想者ガ良圖書ヲ淫猥品ト偏信曲解シタカラ自分モ健全思
 想ヲ去リテ淫猥思想デ淫猥品ト偏信曲解セネバナラヌ」ト言フノト毫モ變ツタ所ノナ
 イ詭辨デアツテ、悪者ガ惡ヲ爲シ醜思想者ガ物事ヲ醜解シタカラトテ其惡行爲ヲ眞似
 タリ醜思想ニ左擔シタリスルトハ至極劣等ナ慮見ト謂フベキモノデアアル。他人ノ惡行
 ヤ醜思想ヲ聞キ知ツタカラトテ、其醜ヲ眞似ネバナラヌト云フ道徳ガどこノ國ニア
 ルカ、どこノ村ニアルカ？ 商人ガ若シ既往ノ奸官ノ奸行デモ奸商ノ奸行デモ少シデ
 モ聞キ知ツタナラバ!! 昔ノ町人根性ヲ去ツテ自分モ血ト骨ノアル日本國民デアルト
 云フ自覺ノ下ニ、堂々ト斯カル奸官奸商共ヲ攻撃スルノガ懲惡ノ大道徳デハナイカ？

要スルニ醜惡ニ傲フノハ道德デハナクシテ、**惡ニ反對ノ態度行**
爲ヲ執ルノガ道德デアリ善デアル。併シ醜惡ヲ懲ラ
 ス程ノ大道徳ヲ實行スレバ時ニ或ハ思想ノ徹底セザル凡人ヤ醜惡者ノ味方ナドカラ惡
 評サレルコトモアルケレドモ、其ンナ惡評罵評グラキハ度外視シテ居ネバ眞ノ大道徳
 ノ實行者タルコトハ出來ヌノデアアル。

故ニ健良ナル思想ヲ有スル多數國民ハ醜猥思想ニ反對ノ健實思想ニ進ミ、**奸ニ反對**
ノ義ニ勇ミ、惡ニ反對ノ善ヲ行フノ心掛ケガナクテハナラヌ。洋紙ヲ活字ニ染メテ講
 義録ト名附ケテ賣ル商人ガ美名誇大ノ何學會トカ云フ名稱ヲ附シテ、中學五年卒業程
 ノ**資格**ガアルトカ**出鱈目ノ誇大**尨大偽大ナ**廣告**ヲ

爲シ、思想ノ未ダ熟セザル世ノ青少年ヲ釣ルニ便利ナル有名ナ奴等ノ名義ヲ借リ
 テ會長トカ顧問トカ仰山ニ並べ立テ、**誇大**建築ヤ華奢贅澤ナ生活ヲ爲シ得ル程度
 ニ暴利ヲ貧リ得タル奸智ノ奸商ヤ、眞面目ナ多數國民ノ日用品ヲ買占メタリ賣リ客ン
 ダリシテ**私腹ヲ肥ヤス奸徒ハ實ニ國民ニ對スル**
鬼賊デアツテ、**彼等ノ肉ヲ寸々ニ割イテ火中ニ**
燒キ棄テテモ猶ホ餘リアル奸徒デアルカラ、國民ノ爲
 メヲ圖ルベキ政府ガ之等ヲ取締ルベキハ當然ナコトデアアルガ、若シ政府ノ行リ方ガ手
 緩イト思ツタ國民ハ——苟クモ**義ニ勇ム骨アルノ國民ハ堂**
々ト鼓ヲ鳴ラシテ極力鬼賊奸徒ヲ攻ムベシ

デアアル、口ニ筆ニ大ヒニ攻ムベシダ、蓋シ圖書發行ヲ以テシテハ巨額ノ財ヲ犠牲ニセネバナラヌコトモアルカラ、其犠牲費ヲ避ケタイ人ハ、斯ル奸徒ヲ憎撃スルダケノ至誠ヲ有スル正義ノ新聞雜誌ニとし、投書シテ國家國民ノ爲メニ盡スベキデアル、國民諸君以テ如何ト爲ス!

●男子の心身を鍛錬するは正に
 巡査の職にあり、世の健

児は宜しく人民保護の榮職に就け

最も早く時代より最も多くの
 就職者を出せし當所の外に如何はしき
 ものあるを知れ

巡査志願者募券集

二ヶ月卒業
 目下入所の
 好時機

▲在外生は通信教費八
 十四錢 講義録全送

別に實地
 教場も**寄宿も無き洋紙販賣主義**
 なる講義録屋の學會てふ美名誇大の廣告に惑はさ
 れて未だ**實力**を得ざりし**當所**に學べ
 就職の**實力**人は直ちに**當所**に學べ

●▲寄宿生通學生は月謝參圓宛也
 東京市神田區西小川町貳丁目
 巡査看守**養成所**
 普通文官**養成所**
 振替東京 壹貳五貳參番

規則
 照會
 參錢

靈翠女史の思想は既に女史の心血に成れる著を精讀せし天下幾多男女の驚歎して賞揚する所、今また筆致の妙趣を以て知られたる女史に揮毫を乞ふ人多く、世間は女史をして益々多忙ならしめつゝあり。

○靈翠女史染筆(申込順に依り揮毫)

女筆揮毫

草書又は行書に限る
額面用絹地一面金貳圓也
送料二十二錢づつ
掛軸用絹地一面金五圓也

○筆勢雄渾、真に女性の筆とは見ざる優秀の書、而かも歌墨に至つては其流麗なること形容の辭無し。

△揮毫御希望の御方は御申込の際に、豫じめ歌とか漢字とかの希望を略記し半金御送金せらるべし、殘金は送達の際に代金引替とす。

△申込者夥大なる時は揮毫遅延すること有之付き成るべく前以て御申込まれたる方が御得策に候。

△希望者餘りに過多なる際(若しくは病氣等の際)に於て到底一ヶ月以内に揮毫の暇無しと豫想したる時は遺憾ながら謝絶返金致すこと之れあるべく候。

東京芝區白金三光町 春秋庵

(注意) 本會の各品は國民中の至誠者のみに頒ちて萬一にも不敬漢らしき徒輩へは頒たざる主義なれば苟にも不敬の取扱ひなき様茲に御注意申置候

▲至高至貴 國民の拜觀し得ざる尊嚴極まる所

伊勢大廟外御正殿圖

二幅 長幅緞子表装本仕立各壹幅誠價金八圓
一対 短幅緞子表装略仕立各壹幅誠價金五圓

並表装長幅各壹幅誠價金參圓

三種之神器御尊圖

表装完成品 短幅ハ長幅ヨリ約壹尺五寸餘短シ

▲掲ぐれば兩尊竝んで吉祥自づから家に満つるの感あり

東京神田大日本國祖報德會謹纂

▲人界の一大健著現はる

▲世界を語り物質を議し倫理を説くの徒も先づ本書を精讀して後口を開いては如何
●吾れは世界の一員也との自信ある人は讀め

▲本書の著者は日本に在籍四十年、正に日本を世界の本源地なりと立證し斷定せり

世界の王政復古

テンテイ著
價六拾錢 送料四錢
滿卷悉く邦文平易

▲宗教家道德教者政治家教育家及び政府其他の團體より多數注文の時は割引す

●吾れは獸猿也木石也と想ふ人は讀む勿れ

▲本書を手にはせば無言裡に世人の尊敬を受く

東京 神田區小川町貳丁目貳番地 人界社

▲徒らに迷うて日を送るは損ならずや？

▲幸運を欲する人は躊躇なく申込まれよ!!

人事通信占斷

如何なる事
件でも要領
を簡潔に記
して質問し
なさい

帝都に於有名なる土橋福翁先生

に乞うて人事百般の件を親切に占斷通信す

▲一事件金五拾錢宛前金(切手なら貳割増で貳錢切手
のみに限る) ●東京芝區三光町雷神山脇天地堂

●見よ!! 實際的に假の人物を捉へ來りて一々問答したる本書を!!

男女關係の法律問答

▲男女○したき人▲結婚したい男女▲私生子に心配な
▲養子に行きたい人と貰ひたい人々の注意すべき法律
▲下ナのが強姦罪姦通罪猥褻罪になるかを知らたい人
▲財産相續や借金の免れ道を知りたき人等は讀め●總假
名附で百餘件を語る様に懇切丁寧に説てある(價五拾錢)
切手なら貳割増にして一錢切手のみに限る
●東京芝區白金三光町 香蘭女學校協 文界堂

男でも女でも!!生きて居る人間が
此れを味はずに濟みますか?

夜のけまで

此れを讀むに上は下
ぬありませ

夜明けまでと云つたら判つて居るでせうが!色の白い
人や黒い人や櫻色桃色黄色の人々が眞に仲善く天國に
行つた様に親しく愉快になる方法を書いて有ます先づ
一本を求めて味合うて御覽(價六拾錢)切手なら貳割増
●東京芝區白金三光町香蘭女學校協 文界堂

大正五年六月二十七日印刷
大正六年二月一日第二版訂正增補發行
大正六年十月十日第三版訂正增補發行

。定價金壹圓。

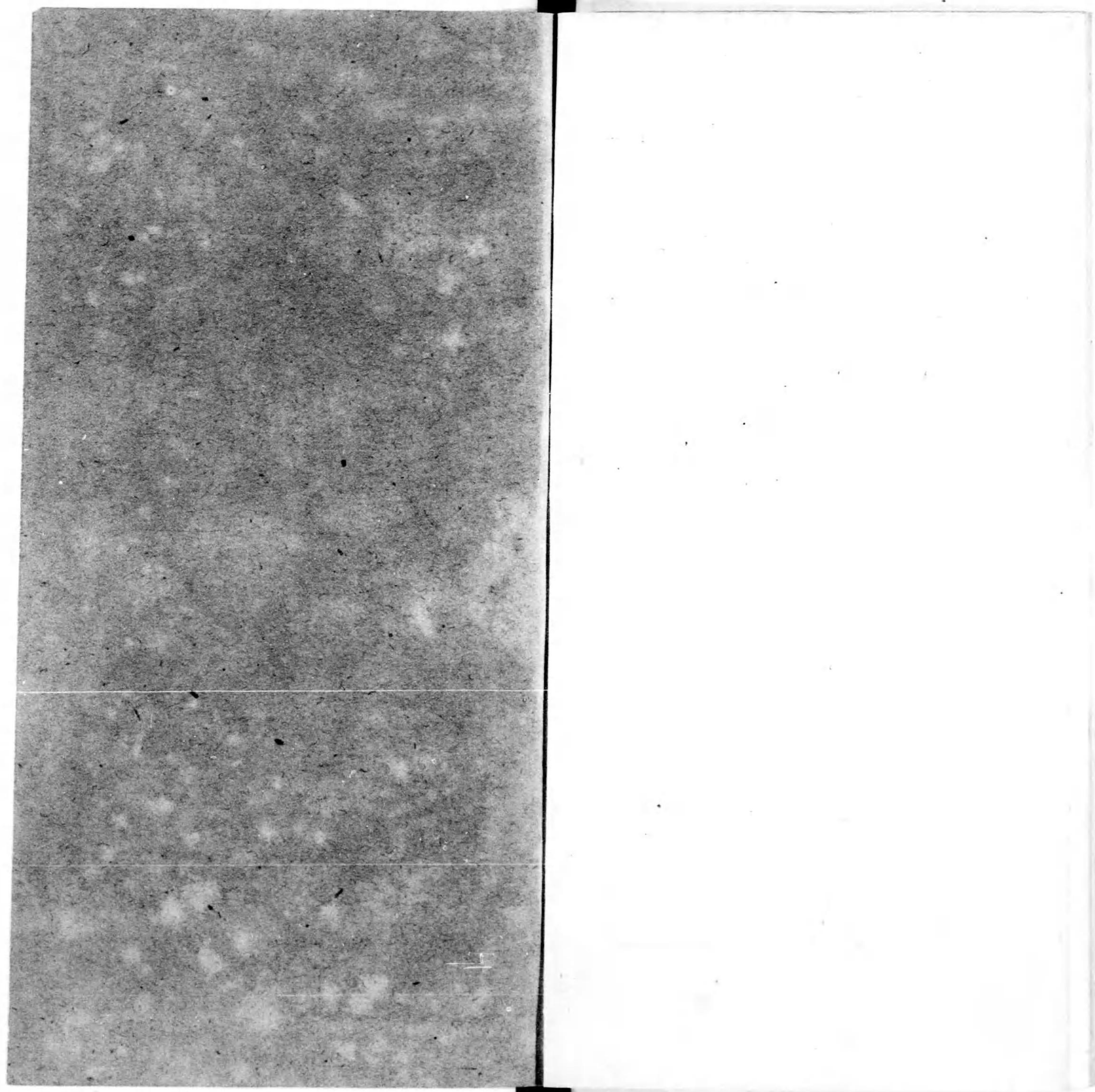


著者 塚田數枝
發行所 東京市芝區白金三光町參百八十二番地

印刷者 杉本新吉
東京市神田區西小川町二丁目五番地

印刷所 大精社
東京市神田區西小川町二丁目五番地

發行所 東京市芝區白金三光町參百八十二番地 春秋庵



579
208

春秋庵

終